

# 国語

## ▶マントラ（現代文用語）—— 1

現代文用語を見れば、パッと意味がわかるようになるまで練習してください。[頻出レベル]の現代文用語は一言一句完璧に意味まで暗記するようにしてください。

[応用レベル]の現代文用語はおおよその意味が答えられるようにしてください。

## ▶マントラ（類義語・対義語）—— 12

セットで暗記することによって、暗記効率が高まり、現代文の読解にも役立ちます。用語を見ただけで、セットとなる類義語・対義語がパッと思いつくようになるまで練習してください。

## ▶マントラ（古文単語・古文常識・古文熟語・古文敬語・古文例文）—— 18

古文単語・古文常識・古文熟語・古文敬語・古文例文を見れば、現代語訳がパッと答えられるようになるまで練習してください。

## ▶ヤントラ（古典文法）—— 37

何度も音読し、書き写し、白紙にスラスラと書き出せるようにしてください。

## マントラ 現代文用語（頻出レベル・応用レベル）

### 頻出レベル

□**神** 人間を超越し、宇宙を創造・支配する全知全能の存在。心のよりどころになるもの。世界の根拠となるもの。□**神話** 太古の歴史を語った神々の物語。根拠もないのに人々に広く信じられていること。□**宗教** 世界に意味を与える体系。神仏などを信仰して、安らぎを得ようとする心の働き。□**人間** 理性をもつ存在。社会の中の一人、個人。□**自然** この世界にもともと存在するもの。人間以外の存在。人やものにもともと備わっている性質。□**環境** 人や生き物を取り囲む、周りの世界。自然環境。□**個** 一人の人。□**社会** 多くの個人が集まって形作っている規模の大きな集団のこと。□**私** 自分自身に関する個人的なこと。プライバシー。□**公** 組織や世間一般の人が関わっていること。社会的なこと。公共。□**文化** 人間の精神活動によって生み出されたものの総体。衣食住・学問・芸術・宗教・政治・経済など。□**文明** 人間の技術的・物質的所産。人の知恵が進んで機械などが発達し成熟・進歩した社会の状態。□**近代** 資本主義の形成、個人の自由・平等・独立が確立された市民社会以後の時代。□**空間** 時間とともに物質界を成り立たせる基礎形式。場所の広がり。□**時間** 空間とともに物質界を成り立たせる基礎形式。時の広がり。□**知識** 教育や経験を通して得た情報。□**学問** ある枠組みによって対象を体系的に理解しようとする事。□**科学** 学問。世界に対する合理的な探求。特に、自然科学。□**テクノロジー (technology)**・**科学技術** 科学を実際に応用する手段。□**言葉・言語** 一定の決まりに従って音声・文字・記号を連ね、意味を表すもの。伝達の手段。□**記号** 意味を表すもの。□**秩序・コスモス (cosmos)** 一定の順序や決まりに従って整然として、全体的なまとまりがある様子。□**混沌・カオス (chaos)** 入りまじって区別のつかない様子。無秩序。□**分節化** 混沌とした世界を認識しやすいように、言葉によってものごとを分類して世界に区切りをいれ、意味を生じさせること。□**分析** ものごとを部分に分けて、その内容や性質を明らかにすること。□**総合** バラバラのものを一つにまとめあげること。□**アナロジー (analogy)**・**類比・類推** ものごとの共通性に注目して、別の点でも同じであろうと考えること。□**対比・二項対立** ものごとの違いに注目して、考えること。□**一義** ものごとが一つの意味にだけ解釈できること。□**多義** ものごとがさまざまな意味をもっていること。□**一元論** ある一つのものだけを、真実の根本的なものとする考え方。□**二元論** 何事も二つのものを中心としてとらえる考え方。□**形而下・フィジックス (physics)** 形あるもの。感性を通して経験的に認識できるもの。□**形而上・メタフィジックス (metaphysics)** 形のないもの。感性を通して経験的に認

識できないもの。理性によってしかとらえられないもの。□**理性** 合理的に考え、判断する能力。□**悟性** 思考能力。知性。□**感性** 感覚や知覚によって、ものごとを感じ取る能力。□**意識** 人間の心が、外界の事物や状況に気づき、それを知覚している状態。□**無意識・深層心理** 人間の心の中で起っているにもかかわらず、その働きや状態が、その人には意識されない心の領域。□**概念** 同一種類の多くのものごとから、共通内容を取り出し、それをまとめた一般的な考え。□**概念的** とらえ方がおおまかで、具体性がない様子。□**観念** あるものごとについての個人の心の中にあるぼんやりとした考え。□**観念的** 理屈だけで、現実離れして、自分の頭の中だけにかたよる様子。□**理念** こうあるべきだ、こうあるのが望ましいという考え。理想。□**アイデア** (idea) 理性によってのみ認識できると考えられた事物の真の姿。□**イメージ** (image)・**心象** 心の中に思い浮かべる像。□**イデオロギー** (ideology) 観念形態。人の思考や行動を拘束する、ものの見方・考え方。□**パラダイム** (paradigm) ある時代の思考の枠組み。□**パラダイムシフト** (paradigm shift) ものの見方が根本的に変わること。□**人為** 人間のしわざ。人工。□**心身二元論** 世界が心と物という二つの要素から成り立っているという考え方。□**身体** 我々の人格の一部を形成すると考えられる人間の身体。□**精神** 思考や感情を働かせているもの。□**機械** 意志を働かせず、決まったことだけを行うこと。自然の因果関係に従って動くこと。メカニズム。□**物質** デカルト二元論における、世界の実体の一つ。□**人工** 人の手が加わること。作為。□**行為** 人間のあらゆる意識的な動作のこと。□**アイデンティティー** (identity)・**自己同一性** 自分が自分であることの証明。自己と他者を区別する根拠。□**近代的自我** 自分が理性をもつ一人の人間だという、意識をもつ主体。□**自我** 意識や行為の中心としての自分。自分にこだわる気持ち。エゴ。□**自己** 自分自身。自ら感覚・知覚し思考し行為する主体として、他者と区別して意識される「自分」という存在。□**アイデンティティーの危機** 自分が何者なのかを見失うこと。□**帰属意識** ある集団の一員だと意識すること。□**比喩** たとえ。物事を説明するとき、別の物事になぞらえて表現すること。□**レトリック** (rhetoric) 言葉を巧みに使って、自分の発言に説得力を持たせたり、文章を美しく飾ったりする表現技法。□**直喩・明喩** 「ようだ」「ごとし」などを用いる、はっきり比喩だとわかる表現。□**隠喩・暗喩・メタファー** (metaphor) 「ようだ」「ごとし」など、たとえを表す表現を用いない比喩。暗示するもの。□**擬人** 人間でないものを人間になぞらえた表現。□**象徴・シンボル** (symbol) 抽象的な概念を具体的な事物で表すこと。誰でも知っているわかりやすいものをつなぐことで、わかりにくいものがわかるようになること。□**情報** 判断を下したり行動を決めたりするのに役立つ知識。やりとりされる指令や信号。□**情報化社会** 情報そのものに、商品と

## マントラ 現代文用語(頻出レベル)

しての大きな価値を認める社会。□**メディア** (media)・**媒体** 情報の送り手と受け手をつなぐもの。□**コミュニケーション** (communication) 情報伝達。気持ちや考えを伝え合うこと。□**マスコミュニケーション** (mass communication) 大衆に大量の情報を伝えること。マスコミ。□**マスメディア** (mass media) マスコミの媒体となるもの。□**虚構** つくりごと。フィクション。□**ノンフィクション** (non-fiction) 現実。リアリティ。□**絶対** 唯一のものであること。一つのものだけを信じ込んでいること。□**相対** 二つ以上のものがあること。見比べること。さまざまな面からものを見ること。□**一般** 例外はあるものの多くの場合にあてはまること。全体的にあてはまること。□**普遍** いつの時代でも、どこでも、例外なくすべて成り立つこと。□**特殊** 他とは共通しない、ある時代、ある場所に固有のものであること。□**個別** 一つひとつ別々なこと。□**演繹** ある原理から、さまざまな事柄を論理的に導き出す思考法。□**帰納** さまざまな事実から、一般的な法則や原理を導き出す思考法。□**抽象** ものごとのある共通する本質的な性質を取り出すこと。□**具体** はっきりとした姿や形をもっていて、直接感覚でとらえること。□**捨象** 抽象するために、本質的でない個々の特徴を捨て去ること。□**合理** 論理や道理にかなっていること。無駄がなく能率的であること。□**非合理** 理性や論理ではとらえられないこと。(現代のように「論理」が絶対正しいとは言えない世の中では、この言葉は必ずしもマイナスイメージではない。例えば、人の心情。) □**不合理** 論理や道理に合わないこと。(マイナスイメージを伴うことが多い。) □**デジタル** (digital) ものごとを割り切って考えること。ものごとを柔軟にとらえられないこと。□**アナログ** (analog) ものごとを曖昧にとらえること。ものごとを全体的にとらえること。□**有機** 各部分が密接に結びつきあい、まとまりをもっている様子。□**無機** 整然としていてあたたかみのない様子。機械的。□**主体** 行為の作用を、他に対して及ぼす存在。□**客体** 主体の行為・行動の対象となる存在。□**主観** 自分以外の人には必ずしも通用するとは限らない、その人だけの個人的な見方。□**客観** 自分だけではなく、他の誰にも共通するもの見方。□**対象化** 本来は対象として特別には意識していなかったものを主体から切り離して、よく見えるように少し距離を置いてみること。□**自律** 自分で自分の行動をコントロールすること。□**他律** 自分の意志ではなく他人の意志にしたがって行動すること。□**能動** 自分で考えて自分で行動すること。□**受動** 自分で考えようとせず他に合わせて行動すること。□**日常** 日々繰り返される何の変哲もない世界のこと。□**非日常** 日々繰り返される何の変哲もない世界からの脱出をイメージさせる世界のこと。□**正常** 一定の基準に即した秩序ある日常的な状態。□**異常** 一定の基準から外れた混沌とした非日常的な状態。□**ペシミズム** (pessimism)・**悲観** 失望すること。人生などを

否定的に見ること。□**オブティミズム (optimism)**・**樂觀** 物事をよい方に考えて心配しないこと。□**ポジティブ (positive)** 肯定的。積極的。□**ネガティブ (negative)** 否定的。消極的。□**本質** <sup>ほんしつ</sup>ものごとの根本にある性質。それなしではそのものが成り立たないような要素。□**現象** <sup>げんしょう</sup>感覚や意識によってとらえることのできる物事。□**逆説** <sup>ぎゃくせつ</sup>一見、真理とは反対のことを述べているようで、実際は本質をついている考え。□**皮肉** <sup>ひにく</sup>期待したり予想していたのとは違った、悪い結果になること。遠まわしに意地悪く相手を非難すること。□**還元** <sup>かんげん</sup>より基本的に単純だと考えられる要素の組み合わせや働きとして考えること。

## 応用レベル

□**恒常** <sup>こうじょう</sup>一定で変化しないこと。□**偶像** <sup>ぐうざう</sup>崇拝やあこがれの対象となるもの。□**啓示** <sup>けいし</sup>人知で理解できないことを神があらわし示すこと。□**超越** <sup>ちょうえつ</sup>程度・範囲をはるかにとびぬけること。□**銘記** <sup>めいき</sup>心に深く刻みつけること。□**紐帯** <sup>ちゅうたい</sup>二つものを結びつける大切なもの。□**重層** <sup>じゅうそう</sup>いくえにも重なること。□**淘汰** <sup>たうた</sup>よりわけて除くこと。□**固有** <sup>こゆう</sup>ものだけににあること。□**受容** <sup>じゅうよう</sup>受け入れること。□**変容** <sup>へんよう</sup>姿・形がかわること。□**主眼** <sup>しゅがん</sup>中心になる大事なところ。□**伏線** <sup>ふくせん</sup>かくされた筋立て。□**享受** <sup>きょうじょう</sup>味わい楽しむこと。□**吐露** <sup>とろ</sup>心のうちを隠さずに打ち明けること。□**表白** <sup>ひょうはく</sup>言葉や文字にして述べること。□**珠玉** <sup>しゅぎよく</sup>尊いものや美しいもの。□**類型** <sup>るいけい</sup>型にはまっいて個性を失っていること。□**挿話** <sup>そうわ</sup>中途にはさみこまれる本筋と関係のない話。□**透徹** <sup>とうてつ</sup>はっきりして筋道が通っていること。□**礼讃** <sup>らいざん</sup>ありがたく思い、たたえること。□**結晶** <sup>けっしょう</sup>苦心・努力の結果が、ある形となって現れたもの。□**官能** <sup>かんのう</sup>性的な感覚。□**余韻** <sup>よゐん</sup>あとに残る響きや味わい。□**母語** <sup>ぼご</sup>幼児期に最初に習得した言語。□**語彙** <sup>ごゐ</sup>語を集めて一定の順序に書いたもの。□**託宣** <sup>たくせん</sup>お告げ。神託。□**美学** <sup>びがく</sup>自然や芸術における美について研究する学問。□**高踏** <sup>こうたう</sup>世俗をぬけて、気高く身を処すること。□**寓喩** <sup>ぐうゆ</sup>他のことにかこつけて、ある意味をほのめかすこと。□**背馳** <sup>はいち</sup>そむくこと。反対になること。□**不条理** <sup>ふじょうり</sup>物事の道理が通らないこと。□**因果** <sup>いんが</sup>原因と結果。□**歌枕** <sup>うたまくら</sup>和歌によく詠まれた名所。□**造化** <sup>ぞうか</sup>造物主。宇宙。自然。□**発句** <sup>はつぐ</sup>和歌の第一句。連歌・俳諧の第一句。□**言霊** <sup>ことだま</sup>ことばに宿っていると考えられる不思議な力。□**遁世** <sup>とんせい</sup>仏門に入ること。俗世間をのがれて隠れ住むこと。□**唯物論** <sup>ゆいぶつろん</sup>物質こそ根源的なもので、精神はそれによって規定されるとする説。□**月並** <sup>つきなみ</sup>平凡でありきたりなこと。□**次元** <sup>じげん</sup>ある物事を考えたり行ったりするときの立場・程度。□**位相** <sup>いそう</sup>動きや変化のあるものがとる、ある特定の位置や局面での姿。□**属性** <sup>ぞくせい</sup>そのものが本来もっている性質。□**洞察** <sup>とうさつ</sup>見抜くこと。□**思惟** <sup>しゐい</sup>物事の本質・原理・根本を心で深く考えること。□**決定論** <sup>けつていろん</sup>すべての事象が何らかの要因で前もって決められていると

## マントラ 現代文用語(応用レベル)

する説。□**省察** 自分のことを省みること。□**思弁** 経験によらず、頭の中で理性だけに訴えて考えること。□**思索** 物事の道理や筋道をたどって考えること。□**総括** 全体を見通してまとめること。□**包摂** 一つにまとめること。□**敷衍** 意味をおしひろげて詳しく説明すること。□**援用** 自説を主張するために他の文献・事柄などを引用すること。□**詭弁** ごまかしの議論。□**即物** 主観をまじえずに物に即して考えること。□**直観** 推理や経験によらず、直接に物事の本質をとらえること。□**表象** あらわれた姿。形にあらわすこと。□**通念** 一般に共通した考え。□**因習** 古くからのしきたり。□**鳥瞰** 空中や高所から見おろすこと。□**啓蒙** 無知の人に正しい知識を与えること。□**終焉** 命の終わり。物事の終わり。□**匿名** 名前を隠して知らせないこと。□**疎外** 人間が自分の本来のあり方を失って別のものになってしまうこと。□**媒介** 二つの間において、なかだちをすること。□**介在** 物事と物事の間にはさまってあること。□**饒舌** 口数が多く、おしゃべりなこと。□**雄弁** 弁舌が力強く、よどみがないこと。□**是認** よいとして認めること。□**順境** 物事がうまく運び、心配事のない境遇。□**希薄** 少なく薄いこと。□**野暮** 洗練されていないこと・人。□**流動** 常に移り変わること。□**巨視** 物事を大きくとらえて見ること。□**内発** 内部から自然に起こること。□**前衛** 芸術の世界で革新的な活動すること。□**異端** 正統なものからはずれていること。□**狭義** せまい意味。□**聖** けがれなく、尊いこと。神聖。□**俗** 世間。世俗。□**先験**・**先天**・**アプリオリ** 生まれつき。□**後天** 生まれた後に得ること。□**創造** 新しいものを造り出すこと。想像力。□**本音** 本心。□**建前** 表向きな考え。□**矛盾**・**撞着**・**二律背反** つじつまの合わないこと。つじつまの合わないおかしな点。□**原理** 根本的な法則。□**体系**・**システム** 秩序をもったまとまり。□**先入観** あらかじめ作り上げられた見方・考え方。□**常識**・**コモンセンス** 社会の人々が当然もっているはずの知識。□**タブー**・**禁忌** 避けるべきものとして、社会的に禁じられていること。□**アニミズム** 精霊崇拜。□**共通感覚** すべての感覚を統合する、根源的な感覚。□**無為** あるがままでいること。□**個人主義** 個人を重視する態度。自分勝手な態度。利己主義。□**集団主義** 社会や集団の利益を重視する態度。□**ヒューマンイズム** 人間主義。□**利己主義**・**エゴイズム** 自分本位の態度。個人主義。□**家族主義** ある集団を一つの家族と見なす考え。□**共同体** 地縁や血縁など自然な仲間意識によって、有機的に結びついた集団・社会。□**文化相対主義** すべての文化を同等だと考える態度。□**文明開化** 明治初頭の近代化・西洋化。□**和魂洋才** 日本人の精神を守りながら、西洋の学問を取り入れようとする。□**命題**・**テーゼ**・**措定**・**定立** 主張する。判断を言葉で表すこと。□**実証** 経験的な事実から、証明すること。□**止揚**・**揚棄** あるものをそのものとしては否定するが、より高次の段階で生かすこと。□**弁証法** 対話を通して、



真理に達する方法。止揚することで、真理に達する方法。□**実存** 自らの生を問いながら生きる、人間の主体的なあり方。□**テキスト** 本文。文章表現。□**コード** 規則。ルール。□**文脈・コンテクスト** 状況。全体の流れ。□**韻文** 詩歌。□**散文** 普通の文章。□**強迫観念** どうしても頭から追い払えない考え。□**優越感** 自分が他人より優れているという感情。□**コンプレックス** 脅迫複合体。心のしこり。劣等感。□**劣等感** 自分が他人より劣っているという感情。□**追体験** 他人の体験を、自分の体験として味わうこと。□**ユーモア・諧謔・滑稽** おかしみのあること。□**グロテスク** 怪奇的。気味の悪い様子。□**風刺** 他のことに託して、社会や人物を批判、嘲笑すること。□**寓話** 動物などに託して、教訓や風刺をこめたたとえ話。□**無常・儚さ** 永遠に変わらないものは何一つないこと。生滅流転。□**幽玄** 余情のある、深い味わい。□**侘び** 飾りを捨てた、ひっそりとした味わい。□**寂び** 閑寂。静かで、落ち着いた味わい。□**辞世** 死に際して残す言葉や詩。□**ロマン主義・ロマンティズム・浪漫主義** 個人の感情や空想を重視する、芸術上の立場。現実よりも夢や空想を重視する傾向。□**リアリズム** 現実主義。現実を重視する立場。現実主義。ありのまま描こうとする、芸術上の立場。□**叙情** 感情を述べ表すこと。□**郷愁・ノスタルジー** 故郷を懐かしむ気持ち。望郷。過去を懐かしむ気持ち。□**享楽** 快楽を味わうこと。□**禁欲** 欲望を抑えること。□**虚無・ニヒル** 何もないこと。人生を空しいと思うこと。□**相貌** 様相。相好。□**趨勢** ものごとの動向。趨向。□**恣意** 自分勝手な考え。□**詮索** 細かい点まで調べ求めること。□**模索** あれこれと探し求めること。□**均衡** 物事の間につりあいがとれていること。□**示唆** それとなく教えること。ほのめかすこと。□**逸脱** 本筋や枠からはずれること。□**契機** きっかけ。要因。□**遺憾** 不本意で残念なこと。□**駆使** 自由に使いこなすこと。□**便宜** 都合のよいこと。□**換言** 言い換えること。□**機微** 微妙な心のはたらきやことがら。□**恐縮** 相手に申し訳なく思うこと。□**対照** 比べること。対比。違いが際立つこと。コントラスト。□**投影** 物の姿をうつすこと。影響が他のものに現れること。□**平衡** つりあいのとれていること。□**露呈** さらけ出すこと。□**依拠** よりどころとすること。よりどころにするもの。□**巧拙** じょうずとへた。□**端的** 手っとり早く要点だけを述べるようす。□**踏襲** 今までのやり方を受け継ぐこと。□**偏狭** 度量のせまいこと。□**抑揚** ことばなどの調子の高低。□**因縁** 結果をもたらす関係。由来。いわれ。□**貫徹** やり通すこと。□**奇異** ふつうと変わっているさま。□**既存** 以前からあること。□**君臨** 高い地位に立ち勢力をふるうこと。□**刻印** しるしを刻みつけること。□**固執** こたわること。煩惱。□**思索** 筋道をたどって、考えをめぐらすこと。□**丹念** たんねん 細部まで念を入れるさま。入念。□**特異** 他と特に違っているさま。□**脳裏** のうり 意識の中。頭の中。□**彼我** かれとわれ。相手と自分。

マントラ 現代文用語(応用レベル)

**漂泊** ひょうはく さまよい歩くこと。さすらうこと。 **傍観** ぼうかん はたで見ていること。 **埋没** まいぼつ うもれかかってしまうこと。 **漫然** まんぜん 目的がなくぼんやりしているようす。 **無造作** むぞうさく 気軽に考えて簡単にするさま。 **鋭敏** えいびん 才知や才能が鋭いさま。 **得体** えたい 本性。正体。 **円滑** えんかつ 物事がとどこおりなく進むさま。 **懐古** かいこ 昔の情緒などを思いなつかしむこと。 **渴望** かつぼう 切実に願い望むこと。 **感慨** かんがい 心に深く感じること。 **感銘** かんめい 深く感じて忘れないこと。 **驚嘆** きょうたん 驚き感心すること。 **傑出** けつしゅつ ずばぬけて他よりすぐれていること。 **權威** けんい 人を従わせる力。信頼性。 **荒涼** こうりょう 荒れはててさびしいさま。 **克明** こくめい 細かいところまで念をいれるようす。 **主宰** しゅさい 中心となり人をまとめて物事を行うこと。 **觸発** しゅくはつ 物事にふれて行動などを起こすこと。 **叙述** じゆじゆつ 考えなどを順序だてて述べること。 **衰弱** すいじやく おとろえ弱ること。 **崇高** そうこう 気高く偉大なこと。 **精巧** せいこう 細工などが細部まで正確なさま。 **総括** そうかつ 全体を見通してまとめること。 **端緒** たんしよ てがかり。 **陶醉** たうずい 心を奪われてうっとりすること。 **唐突** とうとつ だしぬけて違和感を与えるさま。 **徒勞** とらう むだな骨おり。 **判然** はんぜん はっきりしているさま。 **皮相** ひさう 物事のうわべ。 **不朽** ふきう 長く滅びないで残ること。 **墨守** ぼくしゆ 固く守って変えないこと。 **遊離** ゆうり 他とかけ離れて存在すること。 **營為** えいゐ 人間の意識的ないとなみ・行い。 **恩恵** おんけい 自然や人から受ける恵み。 **回顧** かいこ 過去のことをいろいろ思い返すこと。 **核心** かくしん 物事の中心となる大事な部分。 **含蓄** かんちやく 表面に現れない深い意味や内容。 **帰結** きけつ 考え・議論などが最後に落ち着くところ。 **忌避** きひ 嫌って避けること。 **空疎** くうそ 形ばかりで内容のないさま。 **形象** けいしやう 視覚的なかたち。すがた。 **警鐘** けいしやう 危険を知らせるために打ち鳴らす鐘。 **傑作** けつさく すぐれたできばえの作品。 **拘泥** こうでい こたわること。 **功利** こうり 功劳・巧妙と利益。 **鼓舞** こぶ はげまし勢いづけること。 **顧慮** こりよ あれこれと心を配って気にかけること。 **刷新** さつしん 悪い点を直し、すっかり新しくすること。 **斬新** ざんしん 趣向がきわだって新しいこと。 **四肢** しし 両手両足。 **釈然** しやくぜん 疑いが消えてさっぱりするさま。 **秀逸** しゅういつ ずばぬけてすぐれていること。 **眺望** ちやうぼう 景色を見わたすこと。見晴らし。 **沈潜** ちんせん 落ち着いて深く没頭すること。 **追隨** つゐい 人のしたあとを追って行くこと。 **如実** にょじつ ありのまま。 **破顔** はがん 顔をほころばせて笑うこと。 **破綻** はたん 物事が駄目になること。 **必至** ひつし 避けることができないこと。必然。 **変貌** へんぼう 姿やようすが変わること。 **隆盛** りゅうせい 栄えてさかんなさま。 **流布** るふ 世に広く知れわたること。 **連帯** れんたい 責任を共にして協力して事にあたること。 **哀歓** あいかん 悲しみと喜び。 **悪弊** あくへい 悪いならわし。 **委曲** ゐきよく くわしい事情。 **遺稿** いこう 死後に残された未発表の原稿。 **異彩** いさい きわだつてすぐれているようす。 **意匠** いしやう くふうをこらすこと。趣向。 **異存** いぞん 反対の意見。 **遺物** いぶつ 前時代から残されたもの。 **陰惨** いんさん 陰気で暗くみじめなさま。 **隱然** いんぜん 表面に立たないがどこか勢いのあるさま。 **隱微** いんゐ かすかで外からはわかりにくいさま。 **閱歴** えつれき 経歴。履歴。 **沿革** えんかく うつりかわり。変遷。 **往々** おうおう とときどき。



しばしば。□**回帰** かいき ひとまわりして元にもどること。□**懐柔** かいじゆう 手なずけて自分の思  
 うようにさせること。□**階層** かいそう 社会を構成する人々を職業などで分けた層。□**瓦解** がかい  
 一部のくずれから全体がくずれること。□**佳境** かきよう 最も興味を感じる部分。□**確執** かくしつ  
 自己主張から起こる不和・争い。□**覚者** かくしゃ 仏陀の別名。さとりをひらいた人。□**画** かく  
**然** ぜん 区別のはっきりしているさま。□**佳人薄命** かじんはくめい 美人はとかく短命であること。□**過** か  
**程** てい 経過の道すじ。プロセス。□**過度** かど 適正な程度をこえてしまうこと。□**可否** かひ 賛成  
 と反対。物事のよしあし。□**緩急** かんきゆう ゆるいことときびしいこと。□**歓呼** かんこ 喜んで大  
 声をあげること。□**感傷** かんしやう 感じやすいこと。感じて悲しむこと。□**勸奨** かんしやう 積極的に  
 すすめること。□**歓心** かんしん 喜ぶ心。□**間断** かんだん 絶え間。きれめ。□**看破** かんぱ 見破ること。□**甘** かん  
**美** び うっとりするほど快いこと。□**感服** かんぷく 感心して恐れ入ること。□**緩慢** かんまん のろいさ  
 ま。□**還暦** かんれき 数え年六十一歳のこと。□**起因** きん 物事の起こる原因。□**銳気** きい 意気がさか  
 んなこと。□**機縁** きえん きっかけ。□**疑似** ぎせい 本物に似てまぎらわしいこと。□**机上** きじやう 机の  
 上。卓上。□**既成** きせい すでに世間に通用していること。□**軌跡** きせき ある人のたどったあと。  
 □**帰属** きぞく 組織や個人に属するものとなること。□**基調** きちやう 基本となるもの。基本の考  
 え。□**詰問** きつもん 相手を責めて問い詰めること。□**基底** きてい 基礎となる部分。□**究明** きゆうめい 深く  
 さぐって明らかにすること。□**行儀** ぎぎ 作法にそった態度。□**胸襟** きょうしん 胸のうち。  
 □**興趣** きゆうしゆ おもしろみ。興味。□**曲折** きよくせつ こみいった事情。折れ曲がること。□**琴線** きんせん  
 の中の感じやすい部分。□**吟味** ぎんみ 念入りに調査・点検すること。□**駆逐** くちゆう 追い払うこ  
 と。□**経緯** けいゐ 細かい事情。いきさつ。□**継起** けいき あいついで起こること。□**迎合** けいごう 人の気  
 に入るように調子を合わせること。□**境内** けいだい 神社や寺の敷地の中。□**傾倒** けいとう うちこん  
 で熱中すること。□**希有** きゆう めったになくて、めずらしいさま。□**懸隔** けんかく かけはなれて  
 いること。へだたり。□**顕現** けんげん はっきりと形になって現れること。□**堅固** けんこ ことに動  
 じないこと。□**顕在** けんざい はっきりと形に現れて存在すること。□**現前** げんぜん 目の前にあるこ  
 と。□**堅牢** けんろう かたくてじょうぶなこと。□**講釈** こうしやく 文章の意義を説明して聞かせるこ  
 と。□**高慢** こうまん うぬぼれて人を見下すさま。□**高揚** かうよう 精神や気分を高めること。□**枯渴** こかつ  
 水が枯れてなくなること。□**雑踏** ざつたつ 人ごみ。□**散開** さんかい 広がりが散らばること。□**参画** さんかく 計  
 画に加わること。□**散策** さんさく 散歩。ぶらぶら歩くこと。□**暫定** さんてい 一時的に仮のこととし  
 て決めること。□**参与** さんよ あずかり加わること。□**思案** しあん あれこれと考えること。□**自** じ  
**戒** かい 自身を戒めて気をつけること。□**時期尚早** じきしやうそう その時期に達するにはまだ早いこ  
 と。□**試行錯誤** しこうさくご 失敗を重ねながら解決へと近づくこと。□**自在** じざい 支障がなく思いの  
 ままなさま。□**私淑** ししゆく ひそかにある人を尊敬し、学ぶこと。□**至上** じしやう 絶対的でこの  
 上もないこと。最上。□**市井** しせい 俗世間。世間。まち。□**姿態** しんたい 何かをしているときの  
 からだのようす。□**自嘲** じちやう 自分で自分の行動をあざけり笑うこと。□**実体** じつたい 本質。  
 □**使徒** しと キリストの教えを伝える使者。□**指標** しひょう 目指す目標。□**充足** じゆうそく 満ちたりるこ

マントラ 現代文用語(応用レベル)

と。□**収奪** むりにうばうこと。□**述懐** 思い出を静かに述べること。□**出自** 生まれ。出所。□**首脳** おもだった人。幹部。□**需要** 買ひもとめられているものの量。□**手練** すぐれたうでまえ。□**常軌** ふつうのやりかた。常道。□**焦燥** あせっていること。□**情緒** 対象のまわりの味わいある雰囲気。□**障壁** しきりのかべ。妨げとなるもの。□**所業** おこない。悪いおこない。しわざ。ふるまい。□**処遇** 人をもてなすその仕方。待遇。□**触媒** 自身は変化せず他の反応を促進する物質。□**所作** ふるまい。身のこなし。□**所産** つくりだしうみだされたもの。□**深遠** 予想できないほど奥深いさま。□**深奥** 奥深いところ。□**尋常** 見苦しくないさま。潔いさま。□**侵食** 他人の領地をおかしむしばむこと。□**伸展** のびひろがること。□**審美** 美しいものと醜いものとを見分けること。□**衰微** おとろえ弱ること。□**性急** せっかち。気みじか。□**盛況** 非常ににぎやかでさかんさま。□**精彩** 生き生きとして元気があること。□**精細** くわしく細かいさま。精密。□**清貧** 潔白で貧乏に安んじていること。□**性癖** 性質のかたより。□**折衷** 両極端をすてほどよく調和させること。□**摂理** 自然界の理法。□**是認** よいと認めること。□**潜在** 外に出ないで内にひそんでいること。□**想起** 過ぎ去ったことを思い起こすこと。□**相克** 相対立するものが争うこと。□**相殺** 差し引きゼロにすること。□**莊重** おごそかで重々しいさま。□**疎遠** 長い間会わず親しみがうすくなること。□**疎外** のけものにする。□**遡行** 川をさかのぼって行くこと。□**祖述** 先人の考えを少し発展させて述べる。□**組成** 成分を合わせて組み立てること。□**礎石** 土台石。物事の基礎。□**措置** とりはからうこと。□**粗野** がさつであららしいさま。□**存外** 思いのほか。案外。□**太古** 有史以前の大昔。□**台頭** 群を抜いて現れること。□**弾圧** 権力や武力で強く抑えつけること。□**嘆願** 事情を訴えて願いがかなうよう頼むこと。□**端正** きちんと、ととのっているさま。□**丹精** 心をこめて物事をする。□**嘆息** どうにもならずたためいきをつくこと。□**断腸** 腸がちぎれるほどつらく悲しいこと。□**堪能** 十分に満足すること・すぐれているさま。□**短絡** いきなり結論に結びつけるようなこと。□**弾力** 情勢に応じて自由に変化できること。□**恥辱** はずかしめ。不名誉。□**超然** 物事にこだわらず悠然としているさま。□**調停** 中に立って和解させること。□**弔問** 遺族をたずねて、おくやみを述べる。□**沈滞** とどこおって意気が上がらないこと。□**陳腐** 古くさくてありふれているさま。□**体裁** 外見。世間体。□**徹頭徹尾** 始めから終わりまで。あくまでも。□**伝承** 風習などを受け継ぎ伝えること。□**天賦** 生まれつき。天性。□**倒錯** 混乱のため正常の状態でなくなる。□**踏破** 行程を歩き通す。□**得策** うまいやり方。□**得心** 納得すること。□**認可** みとめて許可すること。□**忍従** じつと耐えて服従すること。□**発揚** ふるいたたせること。□**彼岸** 春分・秋分の日前後各三日間。□**卑**

**近** 身近で理解しやすいこと。□**卑下** 自分をいやしめ、へりくだること。□**微細** きわめて小さいさま。□**秘蔵** 大切にしまっておくこと。□**被膜** おおい包んでいる膜。□**表象** 表れたかたち。□**無愛想** ぶっきらぼうで人づき合いの悪いさま。□**腐心** ひどく心を悩ますこと。□**風情** おもむき。ようす。□**赴任** 任地におもむくこと。□**憤慨** いきどおりなげくこと。□**平板** 単調でおもしろみのないこと。□**偏愛** 特定の者だけを愛すること。□**編纂** 一定の方針のもとに書物をつくること。□**変遷** 時がたつにつれて移り変わること。□**偏重** そればかりを特別に重んじること。□**片片** ひらひらとひるがえるさま。□**遍歴** 諸国をめぐり歩くこと。□**方策** うまい方法。手段。□**包摂** ある概念が他の概念を含むこと。□**保持** たもちつづけること。□**保証** まちがいのないことをうけあうこと。□**補償** 損害などをつぐなうこと。□**勃興** にわかにおこること。□**究端** 事件などはじまり。□**捕縛** つかまえてしぼること。□**翻弄** 思うままにもてあそぶこと。□**枚举** 一つ一つ数えあげること。□**磨滅** すりへること。すりへってなくなること。□**無援** 助けのないこと。□**無邪気** あどけなくてかわいいようす。□**名状** 状態をことばで言い表すこと。□**綿密** こまかくてくわいしさ。□**毛頭** すこしも。全然。□**模倣** まねること。□**紋様** 模様。あや。□**躍動** 勢いよく活動すること。□**由緒** 物事の経てきた道筋。りっぱな来歴。□**融解** とけること。□**悠久** はるかに長く続くさま。永遠。□**有事** 事件・戦争などが起こること。□**融通** 互いに都合をつけて貸借すること。□**誘致** さそい寄せること。□**誘発** ある原因で他のことをさそい起こすこと。□**余技** 専門でない技芸。□**抑留** むりに引きとめておくこと。□**律義** 義理がたいこと。□**臨席** その場に出席すること。□**哀惜** 悲しみ惜しむこと。□**威圧** 威光や権威などでおさえつけること。□**遺棄** 捨てておくこと。□**委讓** 他人にゆずりまかせること。□**逸話** あまり知られてない興味深い話。□**慰問** なぐさめ見舞うこと。□**英邁** 非常にすぐれてかしこいさま。□**縁起** 物事の吉凶のきざし。□**怨恨** うらむこと。□**横着** やるべきことをやらないこと。□**嘔吐** 胃の中のものを吐くこと。□**懐旧** 昔のことを思いなつかしむこと。□**慨嘆** 嘆きいきどおること。□**懐中** ふところ、ポケットの中。□**概評** 全体についてのだいたいの批評。□**隔意** うちとけないよそよそしい気持ち。□**隔絶** かけ離れ隔たっていること。□**学閥** 同じ学校の出身者による派閥。□**禍根** 災いの起こるもと。□**仮借** 見逃すこと。許すこと。□**我執** 自分自身の狭い考えを曲げないこと。□**過疎** ある地域の人口が少なすぎる。□**渦中** もめごとや事件のただ中。□**喝采** 手をたたき声をあげほめはやすこと。□**間隙** すきま。□**慣行** 前からのならわしとして行われること。□**甘受** 甘んじて受けること。□**閑職** ひまで重要でない職。□**敢然** 危険を恐れず思い切って行うさま。□**簡明** 簡単ではっきりしていること。□**頑迷** がんこで道理のわからないさま。

マントラ 現代文用語(応用レベル) 類義語

ま。□**慣例** しきたり。ならわし。□**基幹** 中心となるもの。□**希代** 非常にめずらしいこと。□**窮余** 苦しまぎれ。□**恐慌** 恐れあわてること。□**虚栄心** みえをはる心。うわべを飾る心。□**苦慮** 考え苦しむこと。□**啓発** 知識を与え教指導くこと。□**嫌疑** うたがわしいこと。□**嚴肅** おごそかでつつしみ深いさま。□**功罪** よい点と悪い点。□**高尚** 上品で程度が高いさま。□**巧遅** 上手であるが遅いこと。□**公憤** 社会の悪に対するいきどおり。□**固辞** かたく辞退すること。□**左遷** それまでより低い地位につけること。□**斬罪** 打ち首。□**慈愛** いつくしみ愛すこと。□**雌伏** 活躍する機会を待ちながら力を養うこと。□**雌雄** 優劣。勝負。□**収賄** わいろを受け取ること。□**趣向** おもしろい工夫・考案。□**出納** 金銭などの出し入れ。□**聖域** 侵してはならない神聖な地域。□**晴耕雨読** 自由な境遇を楽しみながら生活すること。□**精髓** 物事のいちばん大切なところ。□**清廉** 心が清く私欲のないさま。□**惜別** わかれを惜しむこと。□**世襲** 子が親の仕事などを代々受け継ぐこと。□**専横** わがままで横暴なさま。□**善処** 適切にとりはからうこと。□**草創** 事業などはじめ。□**疎通** 両者にわからない点や誤解のないこと。□**尊嚴** とうとうとおごそかなさま。□**貸借** 貸すことと借りること。□**陶冶** 才能や性格をきたえ養うこと。□**波及** しだいに影響が広がり伝わっていくこと。□**舶来** 外国から運んで来ること。□**酷似** きわめてよく似ていること。□**骨頂** この上ないこと。□**古色** 古びた色つや。□**糊塗** 一時しのぎにうわべを取りつくろうこと。□**魂胆** よくない考え。たくらみ。□**裁断** 型に合わせて布を断つこと。

マントラ 類義語

- |                         |                         |                         |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| □ <b>平穩</b> — <b>安寧</b> | □ <b>互角</b> — <b>伯仲</b> | □ <b>阻害</b> — <b>邪魔</b> | □ <b>調和</b> — <b>均衡</b> | □ <b>無事</b> — <b>安泰</b> |
| □ <b>交渉</b> — <b>折衝</b> | □ <b>残念</b> — <b>遺憾</b> | □ <b>熟知</b> — <b>通曉</b> | □ <b>心配</b> — <b>懸念</b> | □ <b>扇動</b> — <b>挑発</b> |
| □ <b>難点</b> — <b>欠陥</b> | □ <b>回復</b> — <b>治癒</b> | □ <b>危機</b> — <b>窮地</b> | □ <b>祝福</b> — <b>慶賀</b> | □ <b>奮戦</b> — <b>敢闘</b> |
| □ <b>功名</b> — <b>殊勲</b> | □ <b>永遠</b> — <b>悠久</b> | □ <b>回顧</b> — <b>追憶</b> | □ <b>抄録</b> — <b>抜粋</b> | □ <b>豪放</b> — <b>大胆</b> |
| □ <b>心酔</b> — <b>傾倒</b> | □ <b>無口</b> — <b>寡黙</b> | □ <b>貧乏</b> — <b>困窮</b> | □ <b>死亡</b> — <b>逝去</b> | □ <b>暗示</b> — <b>示唆</b> |
| □ <b>我慢</b> — <b>忍耐</b> | □ <b>悪習</b> — <b>弊風</b> | □ <b>頑迷</b> — <b>偏屈</b> | □ <b>干渉</b> — <b>介入</b> | □ <b>撲滅</b> — <b>根絶</b> |
| □ <b>解雇</b> — <b>罷免</b> | □ <b>寄与</b> — <b>貢献</b> | □ <b>酌量</b> — <b>考慮</b> | □ <b>輸送</b> — <b>運搬</b> | □ <b>妥当</b> — <b>適切</b> |
| □ <b>翼下</b> — <b>傘下</b> | □ <b>荘重</b> — <b>嚴肅</b> | □ <b>困苦</b> — <b>辛酸</b> | □ <b>措置</b> — <b>処理</b> | □ <b>調停</b> — <b>仲裁</b> |
| □ <b>激励</b> — <b>鼓舞</b> | □ <b>進呈</b> — <b>寄贈</b> | □ <b>普通</b> — <b>尋常</b> | □ <b>起源</b> — <b>発祥</b> | □ <b>変遷</b> — <b>推移</b> |
| □ <b>拔群</b> — <b>屈指</b> | □ <b>清廉</b> — <b>潔白</b> | □ <b>公表</b> — <b>披露</b> | □ <b>計略</b> — <b>策謀</b> | □ <b>任務</b> — <b>役目</b> |
| □ <b>背後</b> — <b>後方</b> | □ <b>値段</b> — <b>価格</b> | □ <b>賛成</b> — <b>同意</b> | □ <b>宣伝</b> — <b>広告</b> | □ <b>発展</b> — <b>進歩</b> |

マントラ 類義語 対義語

□ 完遂 <small>かんすい</small> →成就 <small>じょうじゆ</small>	□ 虚構 <small>きょこう</small> →架空 <small>かこう</small>	□ 屈強 <small>くつきやう</small> →頑健 <small>がんけん</small>	□ 傑出 <small>けつしゆつ</small> →卓拔 <small>たくぼつ</small>	□ 混乱 <small>こんらん</small> →紛糾 <small>ふんきじゆう</small>
□ 省略 <small>しょうりやく</small> →割愛 <small>かつあい</small>	□ 疎外 <small>そがい</small> →排斥 <small>はいせき</small>	□ 滞在 <small>たいざい</small> →駐留 <small>ちゆうりゆう</small>	□ 不意 <small>ふい</small> →唐突 <small>とうとつ</small>	□ 普及 <small>ふきじゆう</small> →流布 <small>りゆうふ</small>
□ 面倒 <small>めんどう</small> →厄介 <small>やつかい</small>	□ 没頭 <small>ぼつとう</small> →専念 <small>せんねん</small>	□ 流浪 <small>りゆうらう</small> →漂泊 <small>ひょうはく</small>	□ 歴然 <small>れきぜん</small> →顯著 <small>けんちやく</small>	□ 朗報 <small>ろうほう</small> →福音 <small>ふくいん</small>
□ 固執 <small>こじつ</small> →拘泥 <small>こうでい</small>	□ 一切 <small>いっさい</small> →万事 <small>ばんじ</small>	□ 欲望 <small>よくぼう</small> →煩惱 <small>ぼんのう</small>	□ 容赦 <small>ようしや</small> →寬恕 <small>かんじよ</small>	□ 匹敵 <small>ひつてき</small> →比肩 <small>ひけん</small>
□ 懷柔 <small>かいじゆう</small> →箠絡 <small>ちゆうらく</small>	□ 封鎖 <small>ふうさ</small> →閉塞 <small>へいそく</small>	□ 無視 <small>むし</small> →默殺 <small>もくさつ</small>	□ 億劫 <small>おびくう</small> →大儀 <small>たいぎ</small>	□ 続出 <small>ぞくしゆつ</small> →頻発 <small>ひんぱつ</small>
□ 消去 <small>しょうきよ</small> →払拭 <small>ふっしやく</small>	□ 世話 <small>せわ</small> →斡旋 <small>あつせん</small>	□ 高慢 <small>こうまん</small> →不遜 <small>ふそん</small>	□ 洪水 <small>こうずい</small> →氾濫 <small>はんらん</small>	□ 工面 <small>こうめん</small> →捻出 <small>ねんしゆつ</small>
□ 逆上 <small>ぎやくじやう</small> →激昂 <small>げききやう</small>	□ 清楚 <small>せいそ</small> →可憐 <small>かれん</small>	□ 秘匿 <small>ひたく</small> →隱蔽 <small>いんぺい</small>	□ 崩壊 <small>ほうかい</small> →瓦解 <small>がかい</small>	□ 矛盾 <small>むじゆん</small> →撞着 <small>どうちやく</small>
□ 突如 <small>とつじよ</small> →忽然 <small>こつぜん</small>	□ 強固 <small>きやうこ</small> →堅牢 <small>けんらう</small>	□ 極意 <small>げつい</small> →秘訣 <small>ひけつ</small>	□ 傾斜 <small>けいしや</small> →勾配 <small>こうはい</small>	□ 収奪 <small>しゆうだつ</small> →搾取 <small>さつしゆ</small>
□ 欠点 <small>けつてん</small> →短所 <small>たんじよ</small>	□ 向上 <small>けうじやう</small> →進歩 <small>しんぽ</small>	□ 最期 <small>さいご</small> →臨終 <small>りんじゆう</small>	□ 次第 <small>じだい</small> →順序 <small>じゆんじよ</small>	□ 使命 <small>しめい</small> →任務 <small>にんむ</small>
□ 盛衰 <small>せいせい</small> →興廢 <small>きやうはい</small>	□ 親友 <small>しんゆう</small> →知己 <small>ちき</small>	□ 善戰 <small>ぜんせん</small> →健闘 <small>けんたう</small>	□ 奇拔 <small>きぱつ</small> →突飛 <small>とつひ</small>	□ 列拳 <small>れつけん</small> →羅列 <small>られつ</small>
□ 追従 <small>ついじゆう</small> →追隨 <small>ついすい</small>	□ 発議 <small>はつぎ</small> →提案 <small>ていあん</small>	□ 快活 <small>かいかつ</small> →明朗 <small>めいりやう</small>	□ 同僚 <small>どうりやう</small> →同輩 <small>どうはい</small>	□ 一新 <small>いっしん</small> →刷新 <small>さつしん</small>
□ 完全 <small>かんぜん</small> →無欠 <small>むけつ</small>	□ 気分 <small>きふん</small> →機嫌 <small>きげん</small>	□ 座視 <small>ざし</small> →傍觀 <small>ぼうくわん</small>	□ 対価 <small>たいか</small> →報酬 <small>ほうしゆう</small>	□ 本復 <small>ほんふく</small> →快癒 <small>かいじゆ</small>
□ 恐喝 <small>きやうかく</small> →威嚇 <small>たいかく</small>	□ 对等 <small>たいとう</small> →互角 <small>ごかく</small>	□ 出奔 <small>しゆつほん</small> →逐電 <small>ちくでん</small>	□ 手当 <small>てあて</small> →報酬 <small>ほうしゆう</small>	□ 高低 <small>こうてい</small> →起伏 <small>きふく</small>
□ 從順 <small>じゆうじゆん</small> →恭順 <small>きやうじゆん</small>	□ 舶来 <small>はくらい</small> →舶載 <small>はくさい</small>	□ 綿密 <small>めんみつ</small> →精密 <small>せいみつ</small>	□ 勘弁 <small>かんべん</small> →堪忍 <small>かんにん</small>	□ 削除 <small>さくじよ</small> →抹消 <small>まつしゆう</small>
□ 結婚 <small>けつこん</small> →婚姻 <small>こんいん</small>	□ 事前 <small>じぜん</small> →未然 <small>みぜん</small>	□ 失意 <small>しつじ</small> →落胆 <small>らくたん</small>	□ 念願 <small>ねんがん</small> →本懐 <small>ほんかい</small>	□ 免職 <small>めんしやく</small> →罷免 <small>ひめん</small>
□ 仮借 <small>かじやく</small> →容赦 <small>ようしやく</small>	□ 育成 <small>いくせい</small> →培養 <small>びようじゆう</small>	□ 苦勞 <small>くらう</small> →難澁 <small>なんじゆう</small>	□ 容態 <small>じやうたい</small> →症状 <small>しじゆうじやう</small>	□ 模倣 <small>もぼう</small> →模擬 <small>もぎ</small>
□ 排斥 <small>はいせき</small> →疎外 <small>そがい</small>	□ 周遊 <small>しゆうゆう</small> →遍歷 <small>へんれき</small>	□ 薄情 <small>はくじやう</small> →冷淡 <small>れいたん</small>	□ 偏屈 <small>へんくつ</small> →頑迷 <small>がんめい</small>	□ 残存 <small>ざんぞん</small> →余剩 <small>じよじやう</small>
□ 描写 <small>びやうじや</small> →叙述 <small>じよじゆつ</small>	□ 富貴 <small>ふうき</small> →裕福 <small>よふく</small>	□ 操業 <small>そうぎやう</small> →稼働 <small>かどう</small>	□ 暗示 <small>あんじ</small> →示唆 <small>しさ</small>	□ 上品 <small>じやうひん</small> →高尚 <small>こうしやう</small>
□ 犠牲 <small>ぎせい</small> →献身 <small>けんしん</small>	□ 深慮 <small>しんしゆ</small> →遠謀 <small>えんぼう</small>	□ 育成 <small>いくせい</small> →培養 <small>びようじゆう</small>	□ 処罰 <small>しよばつ</small> →懲戒 <small>ちやうかい</small>	□ 不精 <small>ふせい</small> →怠惰 <small>たいだ</small>
□ 催促 <small>きせき</small> →督促 <small>とくそく</small>	□ 核心 <small>かくしん</small> →中枢 <small>ちゆうしゆう</small>	□ 媒介 <small>ばいはい</small> →中介 <small>しゆうせん</small>	□ 手足 <small>てあし</small> →四肢 <small>しし</small>	□ 平凡 <small>へいはん</small> →凡庸 <small>ふんどう</small>
□ 動作 <small>どうさ</small> →挙動 <small>きやどう</small>	□ 緩慢 <small>かんまん</small> →悠長 <small>ゆうちやう</small>	□ 敬慕 <small>けいぼ</small> →崇拜 <small>すうはい</small>	□ 受胎 <small>じゆうたい</small> →妊娠 <small>にんしん</small>	□ 詩歌 <small>しいか</small> →韻文 <small>いんぶん</small>

マントラ 対義語

□ 愛護 <small>あいご</small> ↔虐待 <small>ぎやくたい</small>	□ 哀楽 <small>あいらく</small> ↔喜怒 <small>きど</small>	□ 暁 <small>あかつき</small> ↔黄昏 <small>たそがれ</small>	□ 悪運 <small>あくうん</small> ↔幸運 <small>こううん</small>	□ 悪事 <small>あくじ</small> ↔善事 <small>ぜんじ</small>
□ 齷齪 <small>あくせく</small> ↔悠々 <small>ゆうゆう</small>	□ 恶政 <small>あくせい</small> ↔善政 <small>ぜんせい</small>	□ 恶評 <small>あくひやう</small> ↔好评 <small>こうひやう</small>	□ 恶天 <small>あくてん</small> ↔好天 <small>こうてん</small>	□ 恶风 <small>あくふう</small> ↔美风 <small>びふう</small>
□ 恶文 <small>あくぶん</small> ↔名文 <small>めいぶん</small>	□ 朝霞 <small>あさがすみ</small> ↔夕霞 <small>ゆがすみ</small>	□ 彼方 <small>あちら</small> ↔此方 <small>こちら</small>	□ 暗算 <small>あんざん</small> ↔笔算 <small>ひっざん</small>	□ 暗愚 <small>あんぐ</small> ↔贤明 <small>けんめい</small>
□ 暗黒 <small>あんこく</small> ↔光明 <small>こうみやう</small>	□ 安心 <small>あんしん</small> ↔心配 <small>しんぱい</small>	□ 案の定 <small>あんじやう</small> ↔案外 <small>あんがい</small>	□ 安定 <small>あんてい</small> ↔不安定 <small>ふあんてい</small>	□ 安定 <small>あんてい</small> ↔変動 <small>へんどう</small>
□ 安楽 <small>あんらく</small> ↔苦勞 <small>くらう</small>	□ 威圧 <small>いあつ</small> ↔懷柔 <small>かいじゆう</small>	□ 一括 <small>いっかつ</small> ↔分割 <small>ぶんかつ</small>	□ 粹 <small>いさ</small> ↔野暮 <small>ほ</small>	□ 異義 <small>いぎ</small> ↔同義 <small>どうぎ</small>
□ 異郷 <small>いきじやう</small> ↔故郷 <small>こきやう</small>	□ 委細 <small>いさい</small> ↔概略 <small>がいりやく</small>	□ 意字 <small>いじ</small> ↔音字 <small>おんじ</small>	□ 遺失 <small>いしつ</small> ↔取得 <small>しゆとく</small>	□ 萎縮 <small>いしゆく</small> ↔伸長 <small>しんちやう</small>
□ 移出 <small>いしゆく</small> ↔移入 <small>いじゆう</small>	□ 異常 <small>いじやう</small> ↔正常 <small>せいじやう</small>	□ 偉人 <small>いじん</small> ↔凡人 <small>ほんじん</small>	□ 異族 <small>いそく</small> ↔同族 <small>どうそく</small>	□ 已然 <small>いぜん</small> ↔未然 <small>みぜん</small>
□ 委託 <small>いたく</small> ↔受托 <small>じゆたく</small>	□ 一言 <small>いちご</small> ↔多言 <small>たげん</small>	□ 一事 <small>いちじ</small> ↔万事 <small>ばんじ</small>	□ 一時 <small>いちじ</small> ↔常時 <small>じやうじ</small>	□ 一代 <small>いちだい</small> ↔永代 <small>えいだい</small>
□ 一瞥 <small>いちべつ</small> ↔熟視 <small>じゆくし</small>	□ 一面 <small>いちめん</small> ↔多面 <small>ためん</small>	□ 一致 <small>いっし</small> ↔相違 <small>さうい</small>	□ 一定 <small>いってい</small> ↔不定 <small>ふてい</small>	□ 移動 <small>いどう</small> ↔固定 <small>こてい</small>



マントラ 対義語

- 違反⇔遵守  違法⇔合法  陰鬱⇔明朗  韻文⇔散文  隠喻⇔直喻  
 インフレ⇔デフレ  迂回⇔直行  雨季⇔乾季  受取人⇔差出人  氏子⇔氏神  
 有情⇔無情  有情⇔非情  有心⇔無心  有象⇔無象  内孫⇔外孫  現⇔夢  
 右翼⇔左翼  薄着⇔厚着  埋める⇔掘る  裏声⇔地声  運航⇔欠航  
 運動⇔静止  永遠⇔一瞬  鋭角⇔鈍角  英才⇔鈍才  詠史⇔詠物  
 永久歯⇔乳歯  永続的⇔一時的  栄華⇔没落  衛星⇔惑星  永劫⇔瞬間  
 栄転⇔左遷  鋭敏⇔鈍感  榮譽⇔恥辱  液化⇔気化  益金⇔損金  
 益鳥⇔害鳥  枝⇔幹  穢土⇔浄土  悦服⇔威服  エピローグ⇔プロローグ  
 演繹⇔帰納  嘔下⇔吐瀉  遠隔⇔近隣  遠眼⇔近眼  円形⇔方形  
 怨恨⇔恩義  衍字⇔脱字  遠写⇔近写  演習⇔実戦  遠心⇔求心  
 遠大⇔狭小  延長⇔短縮  円満⇔不和  塩水⇔淡水  厭世家⇔楽道家  
 円陣⇔方阵  円錐⇔角錐  遠洋⇔近海  王者⇔覇者  往事⇔近事  
 往時⇔近時  心召⇔召集  往信⇔返信  横断⇔縦断  応分⇔過分  
 横柄⇔谦虚  応募⇔募集  往路⇔復路  横列⇔縦列  大家⇔店子  
 臆病⇔豪胆  奥行⇔間口  雄蕊⇔雌蕊  污水⇔浄水  叔母⇔叔父  
 伯母⇔伯父  雄花⇔雌花  汚名⇔美名  面舵⇔取り舵  汚染⇔清浄  
 汚点⇔美点  重荷⇔軽荷  親分⇔子分  恩人⇔仇敵  御社⇔小社  
 穩健⇔過激  音読⇔黙読  カオス⇔コスモス  外圧⇔内圧  外延⇔内包  
 海面⇔海中  開幕⇔終幕  外觀⇔内容  外形⇔実質  改善⇔改悪  
 解雇⇔雇用  外交⇔内政  概算⇔精算  開始⇔終了  概説⇔詳説  
 害虫⇔益虫  快調⇔不調  解任⇔就任  解放⇔拘束  快樂⇔苦痛  
 加害⇔被害  拡大⇔縮小  各論⇔総論  寡作⇔多作  加算⇔減算  
 仮性⇔真性  仮設⇔常設  過疎⇔過密  過度⇔適度  華美⇔質素  
 官学⇔私学  歓喜⇔悲哀  寒気⇔暑気  官軍⇔賊軍  簡潔⇔冗長  
 完結⇔未完  観察⇔実験  官製⇔私製  閑静⇔喧騒  幹線⇔支線  
 完全⇔欠如  寛大⇔狭量  簡単⇔複雑  寒中⇔暑中  閑中⇔忙中  
 貫徹⇔挫折  寒波⇔熱波  完敗⇔優勝  完備⇔不備  灌木⇔喬木  
 寛容⇔嚴格  簡略⇔詳細  寒冷⇔温暖  偽善⇔偽悪  記憶⇔忘却  
 器楽⇔声乐  危惧⇔安堵  帰結⇔理由  既決⇔未決  起工⇔竣工  
 既婚⇔未婚  希少⇔夥多  希釈⇔濃縮  既遂⇔未遂  吉報⇔凶報  
 起点⇔終点  機敏⇔遲鈍  起伏⇔平坦  偽名⇔実名  逆境⇔順境  
 求職⇔求人  給水⇔配水  急進⇔漸進  急性⇔慢性  急落⇔急騰  
 供給⇔需要  狂気⇔正気  強健⇔病弱  強固⇔軟弱  凶作⇔豊作  
 協調⇔排他  拒否⇔承認  共同⇔単独  共有⇔専有  許可⇔禁止

マントラ 対義語

きょくだい きょくしょう	きょぞう じつぞう	ぎねん かくしん	ぎょうこ ゆうかい	きょだい びしょう
□極大⇔極小	□虚像⇔実像	□疑念⇔確信	□凝固⇔融解	□巨大⇔微小
きんせつ えんかく	きんだい こだい	きんいん えんいん	きんこく えんこく	きんちやう しかん
□近接⇔遠隔	□近代⇔古代	□近因⇔遠因	□近国⇔遠国	□緊張⇔弛緩
きんのう ぶつのおう	きんべん たいだ	きんべん えんぼう	くきやう らっきやう	くうかん じかん
□金納⇔物納	□勤勉⇔怠惰	□近辺⇔遠方	□苦境⇔楽境	□空間⇔時間
くうきょ じゅうじつ	くうぜん ぜつご	くうそ じゅうじつ	くうぞう げんじつ	ぐうはつてき けいかくてき
□空虚⇔充实	□空前⇔絶後	□空疎⇔充实	□空想⇔現実	□偶発的⇔計画的
くうり じつり	くうふく まんぶく	くきよ そうきよ	くげん かんげん	くげ ぶけ
□空理⇔実理	□空腹⇔满腹	□愚拳⇔壮拳	□苦言⇔甘言	□公家⇔武家
くさつ けんさつ	くしゃ けんじゃ	ぐしやう ちゅうしやう	くせつ たくせつ	くせん ぜんせん
□愚察⇔賢察	□愚者⇔賢者	□具象⇔抽象	□愚説⇔卓説	□苦戦⇔善戦
くだい ちゅうしやう	くつきまく しんちやう	ぐちよく こうかつ	ぐどん りはつ	くなん かいらく
□具体⇔抽象	□屈曲⇔伸張	□愚直⇔狡猾	□愚鈍⇔利発	□苦難⇔快樂
くまい けいめい	くろうと しろうと	くろしお おやしお	くしん しやうにん	くしん かん
□愚昧⇔賢明	□玄人⇔素人	□黒潮⇔親潮	□君子⇔小人	□君主⇔臣下
ぐんじん ぶんじん	ぐんしよく ぐんかく	けいがい けいだい	けいがん けいじん	けいせい そうつや
□軍人⇔文民	□軍縮⇔軍拡	□境外⇔境内	□慧眼⇔凡眼	□輕快⇔莊重
けいぐ ばいけい	けいげん かじゅう	けいし じゅうし	けいかい けいだん	けいし じし
□敬具⇔拜啓	□輕減⇔加重	□輕視⇔重視	□警戒⇔油断	□継子⇔実子
けいじ ちやうじ	けいしき ないやう	けいせん いせん	けいぞく だんぜつ	けいそつ しんちやう
□慶事⇔弔事	□形式⇔内容	□経線⇔緯線	□継続⇔断絶	□輕率⇔慎重
けいど じ どの	けいび じんだい	けいべつ せんけい	けいげき しゅうげき	けいかい てんじやう
□経度⇔緯度	□輕微⇔甚大	□輕蔑⇔尊敬	□迎撃⇔出撃	□下界⇔天上
げ こ じやうこ	げつご ぶんり	げつだん ちゅうちよ	げつてん びてん	げらく とうき
□下戸⇔上戸	□結合⇔分離	□決断⇔躊躇	□欠点⇔美点	□下落⇔騰貴
げんいん けつ か	げんお あいこう	げんこく ひこく	げんざい せんざい	げんじつ りそう
□原因⇔結果	□嫌悪⇔愛好	□原告⇔被告	□顕在⇔潜在	□現実⇔理想
げんしょ やくしょ	げんしやう ほんたい	げんじん ぐじん	げんせ れいせい	げんそく れいがい
□原書⇔訳書	□現象⇔本体	□賢人⇔愚人	□现世⇔来世	□原則⇔例外
げんたい せうしん	げんやく しやし	げんそん ふそん	げんり おうじやう	こい かしつ
□減退⇔増進	□儉約⇔奢侈	□謙遜⇔不遜	□原理⇔応用	□故意⇔過失
こうい あくい	こうえん ひきん	こうか あんか	こうか なんか	こうが だいぞく
□好意⇔恶意	□高遠⇔卑近	□高価⇔安価	□硬化⇔軟化	□高雅⇔低俗
こうかい りやうかい	こうき げせん	こうぎ きやうぎ	こうてん あつか	こうけん いけん
□公海⇔領海	□高貴⇔下賤	□広義⇔狹義	□好転⇔悪化	□合憲⇔違憲
こうしやう ししやう	こうしやう ていぞく	こうじやう だらく	こうだい きやうしやう	こうばい いけん
□公傷⇔私傷	□高尚⇔低俗	□向上⇔墮落	□广大⇔狭小	□巧選⇔拙速
こうてき してき	こうてん じてん	こうにゅう ばいきやく	こうほ なんぼ	こうばい はんばい
□公的⇔私的	□公転⇔自転	□購入⇔売却	□硬派⇔軟派	□購買⇔販売
こうひつ もうひつ	こうへい さべつ	こうほう しほう	こうまん けんきよ	こうじやう ちせつ
□硬筆⇔毛筆	□公平⇔差別	□公法⇔私法	□高慢⇔謙虚	□巧妙⇔稚拙
こうじやう ししやう	こうりゅう ちよくりゅう	こうらく じこく	こじ せいじ	こうかん こうじやう
□公用⇔私用	□交流⇔直流	□極楽⇔地獄	□誤字⇔正字	□極寒⇔酷暑
こうご ことう	こまつ ことう	こさん しんざん	こふう いまふう	こじん いしゃい
□語尾⇔語頭	□語末⇔語頭	□古参⇔新参	□古風⇔今風	□個人⇔社会
こべつ そうご	こんかん ししやう	こんきやう ゆうふく	こんなん ようい	こんらん ちつじよ
□個別⇔総合	□根幹⇔枝葉	□困窮⇔裕福	□困難⇔容易	□混乱⇔秩序
さいけん さいむ	ざいか こうせき	ざいけ しゅうけ	さいじよ さいし	さいしん ほうしん
□債権⇔債務	□罪過⇔功績	□在家⇔出家	□才女⇔才子	□細心⇔放胆
さいだん しゃだん	さいばい じせい	さいせつ がいせつ	さいせつ がいせつ	さいき さん
□財団⇔社团	□才物⇔鈍物	□栽培⇔自生	□細説⇔概説	□差益⇔差損
さいけい うけい	さいげん げん	さいげん ぞうか	さいじよ ぞうほ	さいじよ てんか
□左傾⇔右傾	□左舷⇔右舷	□削減⇔増加	□削除⇔増補	□削除⇔添加
さいじよ ふか	さいこく かいこく	さい じゅうだい	さいなみ おおなみ	ざっしじ じゅんけい
□剔除⇔付加	□鎖国⇔开国	□些細⇔重大	□細波⇔大波	□雜種⇔純系
さべつ びやうどう	さんか かんげん	ざんじよ よかん	ざんしん ちんぶ	ざんぼつ れんぼつ
□差別⇔平等	□酸化⇔還元	□残暑⇔余寒	□斬新⇔陳腐	□散発⇔連発
さんちやう さんらく	しあん せいあん	しんいん ぼいん	しんき けいん	しんえい こうえき
□山頂⇔山麓	□試案⇔成案	□子音⇔母音	□私益⇔公益	□私営⇔公營
しげき ほんのう	しぜん じんこう	しん たいせん	しんぞん せんぞ	しつ いとくい
□刺激⇔反応	□自然⇔人工	□自薦⇔他薦	□子孫⇔先祖	□失意⇔得意
しつぎ おうじやう	しつぎやう しゅうぎやう	しつこう ほうこう	じつざい かくじやう	じつしつ けいしき
□質疑⇔応答	□失業⇔就業	□失効⇔発効	□实在⇔架空	□實質⇔形式
しつじゆん かんそう	しつしよく しゅうしよく	しつせん りろん	しつそ けいたく	しつもん かいとう
□湿润⇔乾燥	□失職⇔就職	□実戦⇔理論	□質素⇔贅沢	□質問⇔回答
しでき さんふんてき	しじどう じどう	しはい じゅうぞく	じみ ぼ	じやく じやく
□詩的⇔散文的	□自動⇔他動	□支配⇔従属	□地味⇔派手	□邪惡⇔善良

マントラ 対義語

しゃくほう けんきょ ❑ 釈放⇨検挙	じゃどう せいどう ❑ 邪道⇨正道	じゆう そくぼく ❑ 自由⇨束縛	しゅうあく びれい ❑ 醜悪⇨美麗	しゅうえき さんしつ ❑ 収益⇨損失
しゅうぎょう しぎょう ❑ 終業⇨始業	しゅうけつ さんかい ❑ 集結⇨散開	じゅうけつ ひんけつ ❑ 充血⇨貧血	しゅうごう かいさん ❑ 集合⇨解散	しゅうしゅく かくだい ❑ 収縮⇨拡大
しゅうちやく しはつ ❑ 終着⇨始発	しゅうちゅう ぶんさん ❑ 集中⇨分散	じゅうなん きょうこう ❑ 柔軟⇨強硬	しゅうにゅう ししゅつ ❑ 収入⇨支出	しゅうわい ぞうわい ❑ 収賄⇨贈賄
しゅかん きやくかん ❑ 主観⇨客観	しゅん ばいひん ❑ 主賓⇨陪賓	しゅくが あいどう ❑ 祝賀⇨哀悼	しゅくじ ちやうじ ❑ 祝辞⇨弔辞	じゅれん みじゅく ❑ 熟練⇨未熟
しゅじん きやくじん ❑ 主人⇨客人	しゅたい きやくたい ❑ 主体⇨客体	しゅだく きよぜつ ❑ 受諾⇨拒絶	しゅつぎょ にゅうぎょ ❑ 出御⇨入御	しゅつこん けつこん ❑ 出勤⇨欠勤
しゅばん ぜつばん ❑ 出版⇨絶版	しゅりやう ていしゅつ ❑ 受領⇨提出	しゅざん ふさい ❑ 資産⇨負債	しゅひ こうひ ❑ 私費⇨公費	しゅんぷう ぎやくふう ❑ 順風⇨逆風
しやうかく こうかく ❑ 昇格⇨降格	しやうせき まつせき ❑ 上席⇨末席	しやうぜつ かんもく ❑ 饒舌⇨緘黙	しやうだく きよぜつ ❑ 承諾⇨拒絶	しやうとう だんとう ❑ 消灯⇨点灯
しやくじやう たいじ ❑ 借用⇨貸与	しやくじ じやうじ ❑ 叙事⇨抒情	しやくろん ほんろん ❑ 序論⇨本論	しやくぶん だつぶん ❑ 序文⇨跋文	じりき たいりき ❑ 自力⇨他力
じりつ たいりつ ❑ 自立⇨依存	じりつ たいりつ ❑ 自律⇨他律	じりつご たいりつご ❑ 自立語⇨付属語	しんさつ たいりつご ❑ 新鋭⇨古豪	しんごう たいりつご ❑ 進化⇨退化
しんこう ていし ❑ 進行⇨停止	じんさい てんさい ❑ 人災⇨天災	しんし しゆくじよ ❑ 紳士⇨淑女	しんじつ きよぎ ❑ 真実⇨虚偽	しんしゆ たいりつご ❑ 進取⇨退嬰
しんせい きやうせい ❑ 新制⇨旧制	しんぽ たいぽ ❑ 進歩⇨退歩	しんぽ だき ぼしゆでき ❑ 進歩的⇨保守的	しんみつ たいりつご ❑ 親密⇨疎遠	しんごう たいりつご ❑ 深層⇨表層
しんじやう ふしん ❑ 信用⇨不信	しんじやく きやうやく ❑ 新約⇨旧約	しんしやく たいりつご ❑ 新訳⇨旧訳	しんろ たいりつご ❑ 進路⇨退路	しんずい たいりつご ❑ 水面⇨水底
しんじゆん せいじゆん ❑ 衰運⇨盛運	しんたい せいじゆん ❑ 衰退⇨発展	しんへい せいじゆん ❑ 水平⇨垂直	しんじやう たいりつご ❑ 衰亡⇨興隆	しんあん たいりつご ❑ 成案⇨草案
せいおん だくおん ❑ 清音⇨濁音	せいぎ たいぎ ❑ 正義⇨不義	せいとう たいとう ❑ 正答⇨誤答	せいけつ ふけつ ❑ 清潔⇨不潔	せいさん たいりつご ❑ 生産⇨消費
せいしき りやくしき ❑ 正式⇨略式	せいじやく けんそう ❑ 静寂⇨喧噪	せいじゆく みじゆく ❑ 成熟⇨未熟	せいしん たいりつご ❑ 精神⇨肉体	せいしん たいりつご ❑ 精神的⇨物質的
せいじやう りやくじやう ❑ 正装⇨略装	せいじやく らんじやく ❑ 精読⇨乱読	せいぜん たいりつご ❑ 整頓⇨乱雑	せいぜん たいりつご ❑ 整然⇨雜然	せいぶん たいりつご ❑ 成文律⇨不文律
せいもん たいりつご ❑ 正門⇨裏門	せいやう たいりつご ❑ 西洋⇨東洋	せいりゆう だくりゆう ❑ 清流⇨濁流	せいろん たいりつご ❑ 正論⇨邪論	せつきよく たいりつご ❑ 積極⇨消極
せつきん たいりつご ❑ 接近⇨離脱	せつたい たいりつご ❑ 絶対⇨相对	せつご たいりつご ❑ 接頭語⇨接尾語	せつきやう たいりつご ❑ 設置⇨撤去	せつぼう たいりつご ❑ 絶望⇨希望
せつさん たいりつご ❑ 絶賛⇨酷評	ぜんせい たいりつご ❑ 前世⇨来世	ぜんせい たいりつご ❑ 專制的⇨民主的	ぜんたい たいりつご ❑ 全体⇨部分	ぜんぶ たいりつご ❑ 全部⇨一部
せんてん たいりつご ❑ 先天⇨后天	ぜんじちせい たいりつご ❑ 全日制⇨定時制	せんじん たいりつご ❑ 專任⇨兼任	ぜんぼう たいりつご ❑ 全貌⇨一斑	ぜんしん たいりつご ❑ 全身⇨局部
ぜんりやう たいりつご ❑ 善良⇨不良	ぜんだま たいりつご ❑ 善玉⇨悪玉	せんりよ たいりつご ❑ 浅慮⇨深慮	そあく たいりつご ❑ 粗悪⇨精好	ぞうえき たいりつご ❑ 增益⇨減益
ぞうか たいりつご ❑ 造花⇨生花	ぞうき たいりつご ❑ 创刊⇨廢刊	ぞうぎ たいりつご ❑ 爭議⇨和解	ぞうぎやう たいりつご ❑ 創業⇨廢業	ぞうけい たいりつご ❑ 総計⇨小計
そうごてき たいりつご ❑ 相互的⇨一方的	そうこん たいりつご ❑ 早婚⇨晚婚	ぞうさん たいりつご ❑ 増産⇨減産	ぞうし たいりつご ❑ 増資⇨減資	そうしゅん たいりつご ❑ 早春⇨晚秋
ぞうしゅく たいりつご ❑ 增收⇨減収	そうじゆく たいりつご ❑ 早成⇨晚成	そうせい たいりつご ❑ 早成⇨晚成	そうしゅん たいりつご ❑ 早春⇨晚春	ぞうすい たいりつご ❑ 增水⇨減水
そうじ たいりつご ❑ 送辞⇨答辞	そうしつ たいりつご ❑ 喪失⇨獲得	そうぜい たいりつご ❑ 増税⇨減税	そうそく たいりつご ❑ 総則⇨細則	ぞうはい たいりつご ❑ 増配⇨減配
そうぜん たいりつご ❑ 騒然⇨肅然	そうぞう たいりつご ❑ 創造⇨模倣	そうろう たいりつご ❑ 早漏⇨遲漏	そがい たいりつご ❑ 阻害⇨助長	そご たいりつご ❑ 俗語⇨雅語
ぞくしん たいりつご ❑ 促進⇨抑制	ぞくしん たいりつご ❑ 統伸⇨統落	ぞくせい たいりつご ❑ 屬性⇨実体	ぞくひつ たいりつご ❑ 速筆⇨遲筆	ぞくじゆ たいりつご ❑ 粗雑⇨精密
ぞっごう たいりつご ❑ 続行⇨中止	ぞしよく たいりつご ❑ 粗食⇨美食	そすい たいりつご ❑ 疎水⇨親水	そほう たいりつご ❑ 粗暴⇨温和	そや たいりつご ❑ 粗野⇨優雅
ぞうふた たいりつご ❑ 外蓋⇨内蓋	ぞまつ たいりつご ❑ 粗末⇨立派	そんけい たいりつご ❑ 尊敬⇨侮辱	そんぞく たいりつご ❑ 尊属⇨卑属	ぞんたい たいりつご ❑ 尊大⇨卑下
ぞんじやう たいりつご ❑ 尊重⇨無視	ぞんじやう たいりつご ❑ 損友⇨益友	たいげん たいりつご ❑ 体言⇨用言	たいしやく たいりつご ❑ 退職⇨就職	だいたん たいりつご ❑ 大胆⇨小心
たいりやう たいりつご ❑ 大漁⇨不漁	たかば たいりつご ❑ 鷹派⇨鳩派	たしんきやう たいりつご ❑ 多神教⇨一神教	たつびつ たいりつご ❑ 達筆⇨惡筆	たにん たいりつご ❑ 他人⇨自分
だば たいりつご ❑ 駄馬⇨駿馬	たぜい たいりつご ❑ 多勢⇨無勢	たべん たいりつご ❑ 多弁⇨寡黙	たぼう たいりつご ❑ 多忙⇨閑暇	たようせい たいりつご ❑ 多様性⇨画一性
だんじやう たいりつご ❑ 単一⇨複合	だんじゆん たいりつご ❑ 単式⇨複式	だんじゆん たいりつご ❑ 單純⇨複雜	たんじやう たいりつご ❑ 短小⇨長大	たんじやう たいりつご ❑ 誕生⇨死亡
だんとう たいりつご ❑ 暖冬⇨嚴冬	だんめい たいりつご ❑ 短命⇨長寿	たんりよ たいりつご ❑ 短慮⇨深慮	ちくざい たいりつご ❑ 蓄財⇨散財	ちじよく たいりつご ❑ 恥辱⇨名譽





マントラ 対義語 古文単語

<input type="checkbox"/> 未取⇔既取	<input type="checkbox"/> 無学⇔博学	<input type="checkbox"/> 無機⇔有機	<input type="checkbox"/> 無常⇔常住	<input type="checkbox"/> 無趣味⇔多趣味
<input type="checkbox"/> 無知⇔博識	<input type="checkbox"/> 無配⇔有配	<input type="checkbox"/> 無欲⇔貪欲	<input type="checkbox"/> 無理⇔道理	<input type="checkbox"/> 明示⇔暗示
<input type="checkbox"/> 名案⇔愚案	<input type="checkbox"/> 名目⇔実質	<input type="checkbox"/> 明白⇔不明	<input type="checkbox"/> 明瞭⇔曖昧	<input type="checkbox"/> 目頭⇔目尻
<input type="checkbox"/> 目測⇔実測	<input type="checkbox"/> 目的⇔手段	<input type="checkbox"/> 黙秘⇔供述	<input type="checkbox"/> 模型⇔実物	<input type="checkbox"/> 諸手⇔片手
<input type="checkbox"/> 諸刃⇔片刃	<input type="checkbox"/> モダン⇔クラシック	<input type="checkbox"/> 門外漢⇔専門家	<input type="checkbox"/> 野党⇔与党	
<input type="checkbox"/> 唯物論⇔唯心論	<input type="checkbox"/> 優越感⇔劣等感	<input type="checkbox"/> 優秀⇔劣等	<input type="checkbox"/> 優勢⇔劣勢	<input type="checkbox"/> 優等⇔劣等
<input type="checkbox"/> 雄飛⇔雌伏	<input type="checkbox"/> 裕福⇔貧困	<input type="checkbox"/> 雄弁⇔訥弁	<input type="checkbox"/> 有望⇔絶望	<input type="checkbox"/> 優良⇔劣悪
<input type="checkbox"/> 要員⇔剩員	<input type="checkbox"/> 用水⇔排水	<input type="checkbox"/> 陽性⇔陰性	<input type="checkbox"/> 溶質⇔溶媒	<input type="checkbox"/> 抑圧⇔奨励
<input type="checkbox"/> 予算⇔決算	<input type="checkbox"/> 予習⇔復習	<input type="checkbox"/> 予想⇔結果	<input type="checkbox"/> 余分⇔不足分	<input type="checkbox"/> 来訪⇔往訪
<input type="checkbox"/> 来航⇔渡航	<input type="checkbox"/> 楽勝⇔惨敗	<input type="checkbox"/> 落第⇔及第	<input type="checkbox"/> 楽天的⇔厭世的	<input type="checkbox"/> 樂觀⇔悲觀
<input type="checkbox"/> 乱世⇔治世	<input type="checkbox"/> 利益⇔損失	<input type="checkbox"/> 理性⇔感情	<input type="checkbox"/> 利息⇔元金	<input type="checkbox"/> 立像⇔座像
<input type="checkbox"/> 利得⇔損失	<input type="checkbox"/> 離日⇔来日	<input type="checkbox"/> 良性⇔悪性	<input type="checkbox"/> 量の⇔質的	<input type="checkbox"/> 流動的⇔固定的
<input type="checkbox"/> 理論⇔実践	<input type="checkbox"/> 理論派⇔行動派	<input type="checkbox"/> 臨時⇔定例	<input type="checkbox"/> 臨時費⇔経常費	
<input type="checkbox"/> 累進税⇔逆進税	<input type="checkbox"/> 流転⇔静止	<input type="checkbox"/> 流浪⇔定住	<input type="checkbox"/> 留守⇔在宅	<input type="checkbox"/> 冷遇⇔厚遇
<input type="checkbox"/> 令息⇔令嬢	<input type="checkbox"/> 冷静⇔興奮	<input type="checkbox"/> 冷戦⇔熱戦	<input type="checkbox"/> 黎明⇔薄暮	<input type="checkbox"/> 冷淡⇔親切
<input type="checkbox"/> 礼服⇔平服	<input type="checkbox"/> 連続⇔単発	<input type="checkbox"/> 浪費⇔節約	<input type="checkbox"/> 労働者⇔資本家	<input type="checkbox"/> 朗報⇔悲報
<input type="checkbox"/> 老翁⇔老婆	<input type="checkbox"/> 老練⇔幼稚	<input type="checkbox"/> 露見⇔隠蔽	<input type="checkbox"/> 露骨⇔婉曲	<input type="checkbox"/> 露出⇔遮蔽
<input type="checkbox"/> 露出⇔被覆	<input type="checkbox"/> 録画⇔実況	<input type="checkbox"/> 矮星⇔巨星	<input type="checkbox"/> 和解⇔決裂	<input type="checkbox"/> 和語⇔漢語
<input type="checkbox"/> 若手⇔古手	<input type="checkbox"/> 和裁⇔洋裁	<input type="checkbox"/> 若人⇔老人	<input type="checkbox"/> 和書⇔洋書	<input type="checkbox"/> 早生⇔晩手
<input type="checkbox"/> 私事⇔公事	<input type="checkbox"/> 湾内⇔湾外			

マントラ 古文単語

- あはれなり [形動・ナリ] しみじみとした <sup>おもむき</sup> 趣 がある・かわいい・もの悲しい
- おもしろし [形・ク] 明るく感じられて趣がある・風流だ・興味深い 美し [形・シク] 小さくてかわいい・美しい・立派だ 愛し [形・シク] 深く心をうたれるほどかわいい・かわいそう・悲しい 勞痛し [形・ク] かわいい・かわいらしい 優なり [形動・ナリ] 優美だ・上品だ・立派だ・すぐれている 生めかし [形・シク] 優美だ・若々しい・新鮮だ・色っぽい 艶なり [形動・ナリ] 優美だ・色っぽい 麗し [形・シク] 美しい・きちんとしている・親しい 真実なり [形動・ナリ] 誠実だ・まじめだ 後ろ安し [形・ク] 将来が安心だ・頼りになる・頼もしい 懐かし [形・シク] 心ひかれる・親しみやすい ゆかし [形・シク] 見たい・聞きたい・知りたい・なつかしい 有り難し [形・ク] めったに



マントラ 古文単語

ない・すばらしい・むずかしい □<sup>かしこ</sup>畏し [形・ク] おそれおおい・すぐれている・  
 はなはだしい □<sup>さうな</sup>双無し [形・ク] 比類ない・立派だ・あれこれ考えない □<sup>は</sup>恥づか  
 し [形・シク] 立派だ・きまりがわるい □<sup>め</sup>愛でたし [形・ク] すばらしい・立派  
 だ・よろこばしい □<sup>よろ</sup>宜し [形・シク] 悪くない □<sup>あ</sup>悪し [形・シク] 悪い □<sup>わる</sup>悪し  
 [形・ク] よくない □<sup>や</sup>止む事無し [形・ク] ほっておけない・この上ない・立派  
 だ・高貴だ・身分が高い □<sup>あ</sup>有らまほし [形・シク] ありたい・あってほしい・理  
 想的だ・好ましい □<sup>あて</sup>貴なり [形動・ナリ] 上品だ・高貴だ □<sup>こころにく</sup>心憎し [形・ク]  
 奥ゆかしい・上品だ・恐るべきだ □<sup>つ</sup>付き付きし [形・シク] につかわしい・ふさ  
 わしい・感じがよい・上品だ □<sup>めやす</sup>目安し [形・ク] 感じがよい・上品だ・見苦しく  
 ない □<sup>す</sup>好き好きし [形・シク] 風流だ・好色だ □<sup>くまな</sup>隈無し [形・ク] 暗い所がない  
 ・はっきりした・行き届いている □<sup>しる</sup>著し [形・ク] はっきりした・予想通りだ  
 □<sup>はかばか</sup>果果し [形・シク] しっかりした・はっきりした □<sup>おとな</sup>大人し [形・シク] しっかり  
 している・分別がある・大人っぽい・おだやかだ □<sup>おとなおとな</sup>大人大人し [形・シク] 大人  
 っぽい □<sup>をさ</sup>長長し [形・シク] 大人っぽい □<sup>まめまめ</sup>実実し [形・シク] まじめだ・実用  
 的だ □<sup>ねんご</sup>怒るなり [形動・ナリ] 心を込める・熱心だ・親しい □<sup>う</sup>憂し [形・ク]  
 不快だ・いやだ・つらい・情けない・つれない・冷たい □<sup>う</sup>うたてし [形・ク] 不  
 快だ・嘆かわしい・気の毒だ・情けない □<sup>こころづ</sup>心付き無し [形・ク] 心がひかれな  
 い・不快だ・気に入らない □<sup>つ</sup>付き無し [形・ク] ふさわしくない □<sup>むつか</sup>難し [形・  
 シク] 不快だ・うとうしい・わずらわしい・面倒だ・気味が悪い □<sup>う</sup>うるさし  
 [形・ク] 不快だ・いやだ・わずらわしい・面倒だ・立派だ・上手だ □<sup>ところ</sup>所狭し  
 [形・ク] 場所が狭い・きゅうくつだ・やっかいだ・面倒だ・重々しい・おおげさ  
 だ □<sup>うしろめ</sup>後目痛し [形・ク] 不安だ・気がかりだ・やましい・気がとがめる □<sup>おほづか</sup>寛東  
 なし [形・ク] はっきりしない・気がかりだ・待ち遠しい □<sup>こころもと</sup>心許無し [形・ク]  
 気がかりだ・待ち遠しい・はっきりしない □<sup>びん</sup>便無し [形・ク] 具合が悪い・気の  
 毒だ □<sup>ふびん</sup>不便なり [形動・ナリ] 不都合だ・気の毒だ □<sup>あいな</sup>あいなし [形・ク] つまら  
 ない・気にいらぬ □<sup>さうごう</sup>寂寂し [形・シク] つまらない・さびしい □<sup>あぢき</sup>味気無し  
 [形・ク] つまらない □<sup>さび</sup>寂し [形・シク] もの足りない・つまらない □<sup>つれづれ</sup>徒然なり  
 [形動・ナリ] 退屈だ・つまらない・ものさびしい □<sup>くちを</sup>口惜し [形・シク] 残念だ・  
 情けない・つまらない □<sup>あんな</sup>惜し [形・シク] 残念だ・惜しい・立派だ・すばらしい  
 □<sup>く</sup>悔し [形・シク] 残念だ □<sup>わ</sup>侘びし [形・シク] つらい・困った・つまらない・  
 興ざめだ・貧しい・みすぼらしい □<sup>あや</sup>怪し [形・シク] 身分が低い・不思議だ・変  
 だ・粗末でみすぼらしい・見苦しい □<sup>いや</sup>卑し [形・シク] 身分が低い □<sup>ただ</sup>唯なり [形  
 動・ナリ] たちまち・平凡だ □<sup>はかな</sup>果無し [形・ク] むなししい・たよりない □<sup>あだ</sup>かまし  
 [形・ク] うるさい □<sup>あだ</sup>徒なり [形動・ナリ] いいかげんだ・不誠実だ・はかない・

マントラ 古文単語

むだだ・むなしい □疎かなり [形動・ナリ] いいかげんだ・馬鹿だ・言い尽くせない □徒らなり [形動・ナリ] むなしい・ひまである・役に立たない □あさまし [形・シク] 驚きあきれた・情けない・見苦しい □いとほし [形・シク] 気の毒だ・かわいい・困った □難し [形・ク] むずかしい・めったにない・～できない □傍ら痛し [形・ク] みっともない・気の毒だ・きまりがわるい □凄まじ [形・シク] 興ざめた・殺風景だ・冷淡だ □端なし [形・ク] みっともない・中途半端だ・つれない □あからさまなり [形動・ナリ] ほんのちょっと・まったく～ない □賢し [形・シク] りこうぶった・かしこい・しっかりしている □畏し [形・ク] おそれおい □稚けなし [形・ク] 子どもっぽい・幼い □性無し [形・ク] たちが悪い・口やかましい・いたずらだ □なめし [形・ク] 無礼だ・馬鹿にした □目覚まし [形・シク] 心外だ □心無し [形・ク] 分別がない □連れ無し [形・ク] 無関心だ・冷たい・何もない □未だし [形・シク] 未熟だ・まだその時期にならない □更なり [形動・ナリ] 言うまでもない・いまさらだ □理なり [形動・ナリ] 当然だ・道理だ □ゆくりなし [形・ク] 突然だ・不用意だ □即ち [副] すぐに・その時・つまり □漸う [副] しだいに・やっと □やがて [副] そのまま・すぐに・すなわち □斜めなり [形動・ナリ] 普通だ・いいかげんだ・普通でない □並べて [副] 普通・一般に □例 [名] 普通・先例・ならわし □理無し [形・ク] どうしようもない・道理に合わない・たいそう □文無し [形・ク] 筋が通らない □忌みじ [形・シク] 大変だ・並々でない・すばらしい・ひどい □おどろおどろし [形・シク] 大げさだ・気味が悪い・さわがしい □言痛し [形・ク] 大げさだ・はなはだ多い・うるさい □事事し [形・シク] 大げさだ・仰々しい □ゆゆし [形・シク] 並々でない・不吉だ・すばらしい □忌ま忌まし [形・シク] 不吉だ □切なり [形動・ナリ] 痛切だ・ひたすらだ・強引だ □強ちなり [形動・ナリ] 強引だ・一途だ・(否定を伴って) 必ずしも～ない □無下なり [形動・ナリ] ひどい・身分が低い・はなはだしい □漫ろなり [形動・ナリ] むやみやたらである・無関係だ・あてもなく □然ながら [副] そのまま・すべて・まったく(～ない) □流石に [副] そうはいつでもやはり □猶 [副] やはり □然るは [副] そうはいつでも □中中 [副] かえって・中途半端でかえってよくない □如何で [副] どうして・何とかして～たい □何時しか [副] はやく・いつ(～か)・いつのまにか □な～そ [副] ～するな □え～打消 [副] ～できない □煩ふ [動・ハ行四段] ～しかねる・苦しむ・病気になる □よも～打消 [副] まさか～まい □更に～打消 [副] 決して～ない □つゆ～打消 [副] 少しも～ない □かけて～打消 [副] 少しも～ない □長長～打消 [副] ほとんど～ない □つやつや～打消 [副] 少しも～ない □何でふ [副] どうして □聞こゆ [動・ヤ行下二] 申し上げる・耳

マントラ 古文単語

に入る・～申し上げる □**乱がはし**〔形・シク〕やかましい □**愛づ**〔動・ダ行下二〕  
 ほめる・感動する・かわいがる □**珍し**〔形・シク〕すばらしい □**被く**〔動・カ  
 行四段〕かぶる・いただく〔動・カ行下二〕かぶせる・与える □**傳く**〔動・カ行  
 四段〕大切に育てる □**物す**〔動・サ変〕行く・来る・する・ある □**具す**〔動・サ  
 変〕連れて行く・備わる □**行ふ**〔動・ハ行四段〕仏道修行をする □**障る**〔動・  
 ラ行四段〕邪魔される・さしつかえる □**怠る**〔動・ラ行四段〕休む・病気がよく  
 なる □**宴す**〔動・サ行四段〕目立たなくする・出家する □**時めく**〔動・カ行四段〕  
 寵愛される・時世に合って栄える □**驚く**〔動・カ行四段〕目がさめる・はっと  
 する □**念ず**〔動・サ変〕がまんする・祈る □**眺む**〔動・マ行下二〕物思いに沈  
 む・歌を詠む □**あはれがる**〔動・ラ行四段〕悲しがる □**目守る**〔動・ラ行四段〕  
 じっと見る・見つめる □**厭ふ**〔動・ハ行四段〕嫌う □**侘ぶ**〔動・バ行上二〕なや  
 む・困る・おちぶれる・～できない □**気色**〔名〕様子・気分・考え □**頼り**〔名〕  
 よりどころ・機会・配置 □**験**〔名〕**靈験**・**ご利益** □**契り**〔名〕約束・前世の因  
 縁 □**設け**〔名〕準備 □**つとめて**〔名〕早朝・翌朝 □**文**〔名〕書物・漢文・学問  
 □**故**〔名〕理由・風情・由緒 □**徒歩**〔名〕徒歩 □**有らぬ**〔連体〕別の・他の  
 □**有りつる**〔連体〕先ほどの・以前の □**罵る**〔動・ラ行四段〕大騒ぎする・うわ  
 さが立つ □**契る**〔動・ラ行四段〕約束する・結婚する □**をこがまし**〔形・シク〕  
 ばからしい □**辛し**〔形・ク〕つらい □**等閑なり**〔形動・ナリ〕ほどほどである  
 □**匂ふ**〔動・ハ行四段〕美しく照りはえる・つややかで美しい □**言い遣す**〔動・  
 サ行下二〕言ってよこす □**夕されば**〔副〕夕方になると □**夜もすがら**〔副〕夜通  
 し □**年頃**〔名〕長い間 □**例の**〔副〕いつものように □**悩む**〔動・マ行四段〕病  
 気になる □**集く**〔動・カ行四段〕群がる □**あから目**〔名〕よそ見 □**頼に**〔副〕  
 急に □**まだき**〔副〕早くも □**本意なし**〔形動・ク〕もの足りない □**よすが**〔名〕  
 身を寄せる所 □**移ふ**〔動・ハ行四段〕色があせる・花が散る □**託つ**〔動・タ行  
 四段〕不平を言う □**答ふ**〔動・ハ行下二〕返事をする □**頑なり**〔形動・ナリ〕  
 頑固で気がきかない □**怖づ**〔動・ダ行上二〕恐れる □**されば**〔接続〕だから  
 □**手づから**〔副〕自分の手で □**有りし**〔連語〕以前の □**かたへ**〔名〕そば □**た  
 づき**〔名〕手段・様子 □**諍ふ**〔動・ハ行四段〕口げんかをする・口論する □**こ  
 しをれ**〔名〕(自分の歌を謙遜して)へたな歌・まづい歌 □**ありける**〔連体〕以前  
 の・さっきの □**齢**〔名〕年齢・年ごろ □**酔ふ**〔動・ハ行四段〕酔う・迷う  
 □**終日**〔名〕一日中・朝から晩まで □**すさまじ**〔形・シク〕興ざめだ・もの寂しい  
 □**戯れ言**〔名〕冗談 □**よろし**〔形・シク〕まあよい・悪くない・まあまあだ □**雲  
 居**〔名〕宮中・皇居・都・雲のあるところ □**え～ず**〔副〕～することができない  
 □**漢文**〔名〕漢籍 □**幾許**〔副〕どのくらい・それほど □**ゆめゆめ～な**〔副〕決して

マントラ 古文単語

て～するな □<sup>おうな</sup> 嬬 [名] 老女 □<sup>めて</sup> 馬手 [名] 右の手・右の方 □<sup>をまめ</sup> 長女 [名] 年とった女中・下級の女官 □<sup>おもむき</sup> あはれむ [動・マ行四段] かわいがる・しみじみと 趣 を感じる・同情を感じる □<sup>ふるごと</sup> 古事 [名] 昔の古いこと・昔あったこと・故事 □<sup>わた</sup> 渡らひ [名] 生活のための仕事・なりわい □<sup>こち</sup> 東風 [名] 東の風 □<sup>なま</sup> なま [名] 未熟な・年の若い・身分の低い・生物・生意気・なんとなく □<sup>お</sup> たまゆらに [副] ちょっとの間・かすか □<sup>なれ</sup> 汝 [名] おまえ・なんじ □<sup>お</sup> 負ふ [動・ハ行四段] ふさわしい・背負う・待つ □<sup>の</sup> 率る [動・ワ行上一] 引き連れる・持っていく □<sup>やから</sup> 族 [名] 仲間・一族 □<sup>おも</sup> 思ほゆ [動・ヤ行下二] 思われる □<sup>け</sup> 食 [名] 食物・食器 □<sup>かな</sup> 愛し [形・シク] 可愛い・いとしい □<sup>ゆふ</sup> 夕つく [動・カ行下二] 夕方になる □<sup>す</sup> 好き [名] 風流・好色・趣味 □<sup>と</sup> 疾し [形・ク] はやい・利発だ □<sup>きつな</sup> 絆 [名] 断ちがたい情愛 □<sup>いりあひ</sup> 入相 [名] 夕暮れ □<sup>つひ</sup> 費え [名] 費用・浪費 □<sup>おく</sup> 臆す [動・サ変] 気おくれする □<sup>しりへ</sup> 後 [名] うしろ □<sup>い</sup> いを [名] さかな □<sup>てき</sup> 手利き [名] 名手・器用な人 □<sup>あさい</sup> 朝寝 [名] 朝寝 □<sup>あ</sup> さりながら [接続] かししながら □<sup>わたくし</sup> わたくし [名] 個人的な都合・わたし □<sup>あ</sup> 笑む [動・マ行四段] にこにこする □<sup>など</sup> など [副] なぜ □<sup>をこ</sup> をこ [名] 馬鹿・愚かな行動 □<sup>こたみ</sup> 此度 [名] このたび □<sup>おんじき</sup> 飲食 [名] 飲物と食物 □<sup>うた</sup> たた [副] はなはだしく・いよいよ □<sup>おろし</sup> おろし [名] おさがり・山から吹きおろす風 □<sup>あまた</sup> あまた [副] たくさん □<sup>しる</sup> する [動・ラ行四段] <sup>おさ</sup> 治める・領地を所有する・わかる □<sup>さんぞく</sup> やまだち [名] 山賊 □<sup>おと</sup> 音 [名] 噂・たより・音 □<sup>とうぐう</sup> 春宮 [名] 皇太子・皇太子の御殿 □<sup>なか</sup> 半ら [名] 半分・途中・おおよそ □<sup>いま</sup> 今は [名] <sup>りんじゆう</sup> 臨終 □<sup>ものう</sup> 物憂し [形・ク] 気がすすまない・つらい □<sup>かみ</sup> 神さぶ [動・バ行上二] 神々しい □<sup>こうごう</sup> 鄙ぶ [動・バ行上二] いなかびる □<sup>いと</sup> いつくし [形・シク] かわいらしい □<sup>いさ</sup> いさ [副] さあどうだろうか □<sup>いと</sup> 営む [動・マ行四段] 作る・用意する・いそしむ □<sup>あ</sup> 敢ふ [動・ハ行下二] がまんする □<sup>のみ</sup> さのみ [連語] そうばかり □<sup>さとびと</sup> さとびと [名] 田舎者 □<sup>さらに</sup> さらに～ず [副] 全然～ない □<sup>なぐさ</sup> 慰む [動・マ行四段] 気がまぎれる [動・マ行下二] なぐさめる □<sup>かた</sup> 難し [形・ク] むずかしい・並たいていではない □<sup>を</sup> 愛し [形・シク] いとしい・惜しい □<sup>あ</sup> 会ふ [動・ハ行四段] 顔を合わせる・結婚する □<sup>をとこ</sup> 男手 [名] 男の書いた文字・漢字 □<sup>かしがまし</sup> かしがまし [形・シク] やかましい □<sup>みや</sup> 雅び [名] 上品で優雅なこと・風流 □<sup>いへ</sup> 家居 [名] すまい・生活 □<sup>いと</sup> 愛し [形・シク] 気の毒だ・かわいい □<sup>こぞ</sup> 去年 [名] 去年 □<sup>おご</sup> 奢る [動・ラ行四段] 思いあがる・ぜいたくをする・わがままをする □<sup>み</sup> 御髪 [名] 髪 □<sup>あした</sup> 朝 [名] あさ・翌朝 □<sup>わる</sup> 悪し [形・ク] よくない・へただ・下品だ・貧しい・美しくない □<sup>かうみやう</sup> 高名 [名] 有名なこと・てがら □<sup>ともがら</sup> 輩 [名] 仲間・同類 □<sup>うつつ</sup> ころづから [副] 自分の心から □<sup>うつつ</sup> 現 [名] 現実・正気 □<sup>すこぶる</sup> すこぶる [副] すこしばかり・かなり □<sup>れい</sup> 例 [名] いつものこと・ためし・習慣・普通 □<sup>い</sup> さて [接続] そこで・そのまま □<sup>い</sup> 寝ぬ [動・ナ行下二] ねる □<sup>な</sup> なさけ [名] 風流を解す

マントラ 古文単語

る心・和歌のたしなみ・人情・恋愛 □穿つ [動・タ行四段] 穴をあける・貫く  
 □夜さり [名] 夜 □理 [名] 道理 □夜すがら [副] 夜どおし □見る [動・ラ  
 行上一] 会う・結婚する・世話をする・見る □次で [名] 順序・機会 □かばかり  
 [副] これほど □上人 [名] 殿上人 □さりぬべき [連語] 適当な・相当な □枯  
 る [動・ラ行下二] 枯れる・水気がなくなる □長く [動・ラ行下二] 年をとる・  
 盛りになる・すぐれる □うたかた [名] 水の泡 □つれなし [形・ク] 冷淡だ・さ  
 りげない・何事もない □形見 [名] 籠 □いみじ [形・シク] ひどい・すばらしい  
 □心当て [名] あてずっぽう □異心 [名] 悪い心・他の考え □人目 [名] 人の  
 往来・人に見られること・人の見る目 □いで [副] さあ □なじかは [副] どうし  
 て □夜半 [名] 夜中 □愛敬 [名] かわいらしさ □斯う [副] このように・そん  
 なに・いよいよの時がきた □厭ふ [動・ハ行四段] きらう・避ける □もとすゑ  
 [名] 短歌の上の句と下の句・根元と枝葉 □居る [動・ア行上一] 座る・じっとし  
 ている □えせもの [名] ばかもの・にせもの □なべて [副] 一般に・普通・一面  
 に □頼り [名] ついで・手段・手紙・ゆかり □手 [名] 筆跡・文字・書道・指  
 □寝 [名] ねること □すきもの [名] 風流な人 □みながら [副] 全部 □白波  
 [名] 泥棒・白い波 □心癖 [名] くせ □おとにきく [連語] うわさの □宿 [名]  
 わが家・家・庭先・家の戸・宿る所・主人 □玉の緒 [名] 命・少し・玉を貫いて  
 通したひも □見様 [名] 外見 □もろともに [副] いっしょに □またのとし [名]  
 あくる年 □いはむかたなし [連語] 格別だ □離る [動・ラ行下二] とだえる・離  
 れる □品 [名] 身分・人がら・種類・体裁・階段 □翁 [名] 老人 □かつ [副]  
 一方では・すぐに・～したかと思うと・すでに・また □つくづくと [副] しみじ  
 みと・つらつら □しとどに [副] びっしょりと □いかさま [副] きっと・なんと  
 かして □玉梓 [名] 手紙 □さながら [副] そのまま・残らず □古へ [名] 昔・  
 以前 □日暮らし [名] 一日じゅう □契り [名] 運命・約束・男女の誓い □持  
 [副] その上また・あるいは □生る [動・ラ行下二] 生まれる・現れる □賤 [名]  
 身分の低い者 □おくゆかし [形・シク] 見たい・聞きたい・知りたい・なんと  
 く慕わしい □虚言 [名] うそ □科 [名] 欠点・あやまち・罪 □内 [名] 宮中・  
 天皇 □いな [感動] いや □やをら [副] おもむろに □あさまだき [副] 早朝  
 □あはれ [名] 情趣 □客人 [名] 客 □日頃 [名] 数日・平生・近頃 □はなひる  
 [動・ハ行上一] くしゃみをする □つと [副] じっと・さっと □おとづれ [名]  
 たより・訪問 □なべての [連語] すべての・普通の □わたつみ [名] 海・海神  
 □歩く [動・カ行四段] 動きまわる・日を過ごす・～してまわる □性 [名] 習慣・  
 性質 □袞 [名] 蒲団 □例し [名] 先例・こころみること □種々 [名] いろい  
 る・とりどり □まことや [感動] ほんとにまあ □ゆふされば [連語] 夕方になる



マントラ 古文単語

と □四方 [名] 四方・あちらこちら □聞こえ [名] 評判 □古る [動・ラ行上二] 年をとる・古くなる □失す [動・サ行下二] なくなる・死ぬ □折節 [名] 季節・場合・時々・ちょうどその時 □雷 [名] かみなり □隠る [動・ラ行下二] 人目につかぬようにする・なくなる・物のかげにかくれる □未だし [形・シク] 未熟である・時期が早い □是非なし [形・ク] しかたなく・はなはだしい □作文 [名] 漢詩を作ること □公 [名] 天皇・朝廷 □急ぐ [動・ガ行四段] 用意する・せく □いとせめて [連語] たいへんさし迫って □炊ぐ [動・ガ行四段] めしをたく □功 [名] 功績 □階 [名] 階段・はしご □飽く [動・カ行四段] 満足する・いやになる □北面 [名] 北側の部屋 □いづち [名] どちら □麻呂 [名] わたくし □急なり [形動・ナリ] 気短だ □薬師 [名] 医者 □一向 [副] 少しも・ひたすら・いっそのこと □干る [動・ラ行上一] かわく・潮が引く □旨 [名] 中心・趣旨 □月影 [名] 月の光・月の光に映し出された物の姿 □としごろ [名] 長い間 □したりがほ [名] 得意顔 □あやに [副] わけもなく □飯 [名] ごはん □されば [接続] だから・いったい・そもそも □てづから [副] 自分の手で □からに [助] すると同時に □明け暮れ [名] 朝夕・いつも □どち [名] 親しい者同士 □消息 [名] 伝言・便り・案内を乞うこと □古里 [名] むかし都のあった土地・なじみの土地・生まれ故郷・旅に出た後のわが家 □ずちなし [形・ク] どうにもしようがない □調ず [動・サ変] 調伏する・作る・料理する □託つ [動・タ行四段] 他のせいにする・不平を言う □漬つ [動・タ行四段] ぬれる □答ふ [動・ハ行下二] 返事をする □かたくななり [形動・ナリ] 頑固で気がきかない・教養がない □怖づ [動・ダ行上二] 恐れる・はばかる □具す [動・サ変] そなわる・連れて行く □なりはひ [名] 商売 □惑ふ [動・ハ行四段] 心が乱れる・途方にくれる・迷う □麗し [形・シク] きちんとしている・整って美しい・仲が良い □うしろめたし [形・ク] 気がかりだ・不安だ □えならず [連語] 何とも言えないほどすばらしい □いぶかし [形・シク] 疑わしい・心が晴れない □斯かり [動・ラ行変格] このようである □よろこび [名] お礼・喜ぶこと・祝い □世に～打消 [副] 実に・決して～ない □敢へず [連語] 堪えきれない・～しきれないで □現人 [名] この世の人・この世 □忍ぶ [動・バ行上二] がまんする □詫ぶ [動・バ行上二] 心細く思う・落ちぶれる・あやまる □うたて [副] いやで・ひどく・不思議に □ときめく [動・カ行四段] 天皇の寵愛を受けて栄える・時世に合って栄える □ひたぶるに [副] ひたすら・まったく □例の [連語] いつものように □叶ふ [動・ハ行四段] 思いどおりになる・ぴったりする □ころあり [連語] 情趣がわかる・思いやりがある・思慮分別がある □くちさがなし [形・ク] 口が悪い □もの狂ほし [形・シク] 気が変になりそうだ □見す [動・サ行四段] 御覧

マントラ 古文単語

になる・お治めになる □**にほひ** [名] 色美しいこと・よい香り □**らうたし** [形・ク] 可愛い・いじらしい □**託ち顔** [名] うらめしそうな様子 □**あるやうこそはあらめ** [連語] 何かわけがあるのだろう □**よしあり** [連語] 趣がある・由緒がある・わけがある □**艶なり** [形動・ナリ] 風流である・あだっぼい □**あるじ** [名] もてなしをすること・主人 □**申す** [動・サ行四段] 申し上げる・～し申し上げる □**晴るく** [動・カ行四段] はらいのける・気が晴れる □**思ゆ** [動・ヤ行下二] 思い出される・似ている・思われる □**こころゆく** [連語] 気分が晴れる・満足する・納得する □**そこはかとなし** [形・ク] これという理由もない・はっきりしない・とりとめもない □**いまいまし** [形・シク] 不吉である・けがれを祓いたい □**はしたなし** [形・ク] きまりが悪い・中途半端だ・そっけない □**果つ** [動・タ行下二] 死ぬ・なくなる・すっかり～する □**はかばかし** [形・シク] てきぱきしている・頼もしい・はっきりしている □**おとなふ** [動・ハ行四段] 訪問する・音をたてる □**なつかし** [形・シク] 親しみがもてる・心ひかれる □**眞の上** [名] あのころ・過去・ちょうどその時 □**朽つ** [動・タ行四段] 腐る・衰える・死ぬ □**稀有なり** [形動・ナリ] めったにない・とんでもない □**驚く** [動・カ行四段] はっと気がつく・目をさます □**人遣り** [名] 他から強制されてすること □**顕なり** [形動・ナリ] まる見えである・明らかである □**ただならず** [連語] 普通ではない・すぐれている・妊娠している □**賢し** [形・ク] 尊い・もったいない・非常に・利口だ □**認む** [動・マ行四段] きちんと整える・準備する □**争ふ** [動・ハ行四段] あらそう・否定する □**つきづきし** [形・シク] 似つかわしい・調和している □**こころやり** [名] 気晴らし □**あなかま** [感動] ああやかましい・しいっ・静かに □**けしうはあらず** [連語] 悪くはない □**痛し** [形・ク] ひどく・苦痛である □**啓す** [動・サ変] 皇后や皇太子や院に申し上げる □**うとし** [形・ク] 無関心である □**不便なり** [形動・ナリ] 都合が悪い・かわいそうだ・かわいい □**おもておこし** [名] 面目をほどこすこと □**かたち** [名] 顔かたち・様子 □**辛し** [形・ク] つらい・きびしい □**等閑なり** [形動・ナリ] いいかげんだ・ほどほどである □**匂ふ** [動・ハ行四段] 美しく照りはえる・つややかで美しい・赤く色づく □**耐ふ** [動・ハ行下二] 能力がある・すぐれている・我慢する □**怪し** [形・シク] 身分が低い・みすばらしい・不思議だ □**言い遣す** [動・サ行下二] 言ってよこす □**後る** [動・ラ行下二] とり残される・先立たれる・劣る・生き残る □**あさまし** [形・シク] あきれるばかりだ・情けない・見苦しい □**さとる** [名] 実家に帰っていること □**さやけし** [形・ク] 明らかだ・澄んでいる □**おぼつかなし** [形・ク] はっきりわからない・不安だ □**よごころ** [名] 色気 □**ありありて** [連語] 長い年月がたつて・あげくのはてに □**おのがじし** [副] 思い思いに・一人一人 □**長々し** [形・

シク] 大人らしい・しっかりしている □障る [動・ラ行四段] さしつかえる・邪魔になる □忝<sup>かたじけ</sup>なし [形・ク] ありがたい・恥ずかしい □気色 [名] 様子 □はかなし [形・ク] 取るに足らない・たよりない・ちょっとした □いまめかし [形・シク] 現代風である・目新しい □移<sup>うつろ</sup>ふ [動・ハ行四段] 色あせる・花が散る・場所が変わる・時が過ぎる・染まる □すごし [形・ク] 気味が悪い・ぞっとするほど素晴らしい・もの寂しい □怪<sup>け</sup>し [形・シク] 薄情だ・怪<sup>あや</sup>しい・へんだ・そまつだ □故<sup>ゆゑ</sup>付<sup>づ</sup>く [動・カ行四段] 由緒ありげだ・趣がある □仮<sup>かり</sup>初<sup>しよめ</sup>なり [形動・ナリ] ほんのちょっと □こころぐるし [形・シク] 気の毒だ・気がかりだ □たまさかなり [形動・ナリ] まれに・万一・偶然だ □いふかひなし [連語] つまらない・いってもしかたがない □分<sup>わ</sup>く [動・カ行四段・カ行下二] 理解する・分ける □渡<sup>わた</sup>す [動・サ行四段] 一面に~する・それぞれ~する・渡す □無<sup>む</sup>下<sup>げ</sup>に [副] むやみに・まったく □子<sup>こ</sup>の上<sup>かみ</sup> [名] 年上 □悩<sup>なや</sup>む [動・マ行四段] 病気になる・苦しむ □みそかなり [形動・ナリ] ひそかだ・忍びやかだ □さのみこそは [連語] そういうものだろう □実<sup>じつ</sup>に [副] なるほど □まうけ [名] 準備・ごちそう □たをやかなり [形動・ナリ] たわんでいる・しとやかである □げざやかなり [形動・ナリ] あざやかだ □さのみやは [連語] そうばかりは~してられまい □こころにくし [形・ク] 奥ゆかしい □こころもとなし [形・ク] じれったい・気がかりだ・はっきりしない □つらし [形・ク] 薄情だ・たえがたい □なでふ [副] どうして・なんと □紛<sup>まが</sup>ふ [動・ハ行四段] 見分けがつかない・入り乱れる □いはけなし [形・ク] 子供っぽい・無邪気である □案内<sup>あんない</sup> [名] よく知っていること・取り次ぎを頼むこと □いかで [副] どうして・どうにかして □正<sup>まさ</sup>なし [形・ク] よくない・見苦しい・卑怯<sup>ひきよう</sup>だ □拙<sup>つたな</sup>し [形・ク] へたである・不運である □眺<sup>なが</sup>む [動・マ行下二] 物思いに沈む・ぼんやり見る・遠くを見る □こころ・そこら [副] たくさん・非常に □良<sup>よ</sup>うせずは [連語] 悪くすると □給<sup>たま</sup>はる [動・ラ行四段] 頂く □謀<sup>たばか</sup>る [動・ラ行四段] 計画する・相談する □篤<sup>あつ</sup>し [形・ク] 病気が重い □集<sup>すだ</sup>なく [動・カ行四段] 群がる・鳴く □逆<sup>さか</sup>ふ [動・ハ行四段] 反対する □やむごとなし [形・ク] 格別だ・身分が高い・捨てておけない・貴重である □荒<sup>すさ</sup>ぶ [動・バ行上二・バ行四段] 気の向くままに~する・ひどくなる・もてあそぶ □いふもおろかなり [形動・ナリ] 言葉ではいえないほど~だ □ねんごろなり [形動・ナリ] 心をこめている・丁寧である・親しい □わびし [形・シク] 心細い・やりきれない □故<sup>ゆゑ</sup>立<sup>た</sup>つ [動・タ行四段] 気どる □はづかし [形・シク] 気がひけるほど立派だ・恥ずかしい □故<sup>ゆゑ</sup>由<sup>よし</sup> [名] 情趣・いわれ □さるは [接続] そうではあるが・さらに □まめめし [形・シク] まじめである・実用的である □まだきも [副] 早くも □本<sup>ほん</sup>意<sup>い</sup>なし [形・ク] もの足りない・本意である □切<sup>せち</sup>なり [形動・ナリ]

マントラ 古文単語

さしせまっている・しきりに  妬<sup>ねた</sup>し [形・ク] にくらしい  僻<sup>ひがごと</sup>事 [名] まちがい・あやまち  ありもつかず [連語] 落ちつかない  結<sup>むす</sup>ぶ [動・バ行四段] 作る・約束する・結ぶ  絶<sup>た</sup>えて〜ず [副] 少しも〜ない  いそぎ [名] 用意・急ぐこと  いふかたなし [連語] 言いようがない  せめて [副] 非常に・無理に  ことごとし [形・シク] おおげさだ  うるさし [形・ク] わずらわしい・いやだ  ゆかし [形・シク] 見たい・聞きたい・知りたい・読みたい・なつかしい  おのづから [副] まれに・自然に  きよらなり [形動・ナリ] 美しい  現<sup>うつ</sup>し心<sup>ごころ</sup> [名] 正気  惚<sup>しの</sup>ぶ [動・バ行四段] 恋い慕う  罵<sup>ののし</sup>る [動・ラ行四段] 大騒ぎする・うわさが立つ・威勢がいい・罵倒する  かたみに [副] かわるがわる  かしづく [動・カ行四段] 大事に育てる・大切に世話をする  おぼろげなり [形動・ナリ] 平凡だ・並たいていではない  行<sup>おこな</sup>ふ [動・ハ行四段] 仏の道を修行する・おこなう  際<sup>きは</sup>やかなり [形動・ナリ] きわだっている  掬<sup>むす</sup>ぶ [動・バ行四段] 水を手ですくう  よすが [名] 身を寄せる所・ゆかり・手がかり  遺<sup>おこ</sup>す [動・サ行四段・サ行下二] 届けてくる  さらなり [形動・ナリ] 言うまでもない・今さらの感じがする  こまやかなり [形動・ナリ] こまごまとしている・濃い・にっこり・愛情が深い・上品である  ひとつわろし [形・ク] きまりが悪い  さても [接続] それにしても・ほんとうにまあ  斎<sup>いは</sup>ふ [動・ハ行四段] 大切に作る・神に祈る  こころづくし [名] あれこれ気をもむこと  健<sup>すくよ</sup>かなり [形動・ナリ] 無<sup>ぶ</sup>愛<sup>あい</sup>想<sup>そう</sup>だ・丈夫だ・そっけない  渡<sup>わた</sup>る [動・ラ行四段] 一面に〜する・〜し続ける・渡る  ところせし [形・ク] やっかいだ・おおげさだ・窮屈だ  僅<sup>はつ</sup>かなり [形動・ナリ] わずかだ  なかなか [副] かえって  むなし [形・シク] からっぽである・むだである・はかない  いつしか [副] 早く・いつの間にか  見<sup>み</sup>遣<sup>や</sup>る [連語] 向こうの方を見る  さはれ [感動] ええままよ・そうではあるが  すきずきし [形・シク] 風流好みだ・物好きだ・好色めいている  所<sup>ところ</sup>得<sup>え</sup>て [連語] 得意になって・地位を得て威力を示して  設<sup>まう</sup>く [動・カ行下二] 準備する・得をする・作る・持つ  さすがに [副] そうはいうものの  聞<sup>き</sup>こしめす [動・サ行四段] 召し上がる・お聞きになる・お治めになる  わりなし [形・ク] 不合理だ・格別に・つらい・どうしようもない  気<sup>け</sup>色<sup>しき</sup>だつ [動・タ行四段] 〜しはじめる・ようすが改まる  得<sup>ところ</sup>意<sup>えがほ</sup>顔 [連語] 得意顔  やがて [副] そのまま・すぐに  つと [名] みやげ・わらづと  明<sup>あき</sup>らむ [動・マ行下二] はっきり見る・明らかにする・心を晴らす  遊<sup>あそ</sup>び [名] 管弦の遊び・音楽の演奏・遊女  あからさまなり [形動・ナリ] ちよっとの間・ついちよっと・にわかに  賢<sup>さか</sup>し [形・シク] 利口ぶっている・しっかりしている・利口だ  戯<sup>あざ</sup>る [動・ラ行下二] ふざける・しゃれている・くつろぐ  いとほし [形・シク] 気の毒だ・可愛らしい  けしからず

## マントラ 古文単語 古文常識

[連語] 怪しい・感心しない □<sup>のなま</sup>宣ふ [動・ハ行四段] おっしゃる □<sup>やつ</sup>寝る [動・ラ行下二] 目立たない様子でいる・やせ衰える □<sup>あからめ</sup>あからめ [名] よそ見・男がほかの女に心を移すこと □<sup>とみ</sup>頼に [副] 急に □<sup>さうな</sup>双無し [形・ク] ならぶものがない・たやすい □<sup>よし</sup>由なし [形・ク] 関係がない・つまらない・理由がない □<sup>かいまみ</sup>ひとりならず [連語] 自分の意志ですることだが □<sup>ちぎ</sup>垣間見る [動・ラ行上一] のぞき見る □<sup>ちぎ</sup>契る [動・ラ行四段] 約束する・結婚する □<sup>をこがまし</sup>をこがまし [形・シク] ばからしい・でしゃばっている □<sup>ことわる</sup>ことわる [動・ラ行四段] 筋道を立てて話す・判断する

## マントラ 古文常識

□<sup>みやすんどころ</sup>御息所 天皇の御寝所に仕える女官。皇太子の妃 □<sup>かんだちめ</sup>上達部 公卿のこと。大臣・大納言などの三位以上の上級の役人を指す □<sup>せんだち</sup>先達 先輩。修業・学問などで、その道を極めて人 □<sup>せんざい</sup>前栽 庭先の植え込み。庭先の草木 □<sup>あずまじ</sup>東路 京都から東国へ行く道筋。東国地方 □<sup>こうちき</sup>小袿 女房の装束。貴婦人の略式礼装 □<sup>のきぼ</sup>軒端 軒のはし □<sup>もぎ</sup>裳着 女子の成人の儀式 □<sup>みよ</sup>御代 天皇の治世 □<sup>びわ</sup>琵琶 弦楽器の一種 □<sup>ひおけ</sup>火桶 木製の丸火鉢 □<sup>とのおい</sup>宿直 宮中や役所に夜間宿泊し、警備をする事 □<sup>きちょう</sup>几帳 寝殿造りの室内にある隔て用の家具 □<sup>あそん</sup>朝臣 五位以上の貴人の敬称 □<sup>いえい</sup>家居 家を造って住む、または、住居のこと □<sup>めのと</sup>乳母 母親代わりとして子どもを養育する女性 □<sup>ざえ</sup>才 学問。教養。漢詩文などの学識 □<sup>もと</sup>許 ~のもと □<sup>みほし</sup>御階 宮殿や神社などの階段 □<sup>じょうろう</sup>上臈 身分の高い人。高僧 □<sup>さしぬき</sup>指貫 男性が衣冠や直衣などの下に着用する袴 □<sup>すそ</sup>裾 衣服の下の端の箇所 □<sup>みす</sup>御簾 貴人の御殿に用いる簾 □<sup>いちご</sup>一期 一生。生涯 □<sup>てんたく</sup>天然 インド □<sup>うてな</sup>台 見晴らしがきく建物。「玉の台」としてよく使われる □<sup>あやめ</sup>文目 模様。区別。筋道 □<sup>まがき</sup>籬 竹などを粗く編んで作った垣根 □<sup>けちえん</sup>結縁 仏道に入る機縁 □<sup>すくせ</sup>宿世 前世から定まった運命 □<sup>ぼんのう</sup>煩惱 人間を悩ますすべての欲望 □<sup>あいぎょう</sup>愛敬 愛らしさ □<sup>しとみ</sup>蒔 格子の内側に板を張って、日よけや風雨よけをするための戸 □<sup>あじろ</sup>網代 稚魚などを獲るための漁具 □<sup>うつつ</sup>現 現実 □<sup>くじ</sup>公事 朝廷が行う行事や政治。訴訟 □<sup>おとど</sup>大臣 大臣や公卿、または貴人の邸宅を敬った言い方 □<sup>せんみょう</sup>宣命 天皇の勅命を人々に伝えるための文書 □<sup>ごんげん</sup>権現 神の尊号(神号)の一つ □<sup>うぼそく</sup>優婆塞 在家のままで仏門に仕える男性 □<sup>あま</sup>海女 海に潜って貝や海草を採る女性 □<sup>やそじ</sup>八十路 八十年。八十歳 □<sup>おとど</sup>御前駆 先払い □<sup>り</sup>内裏 宮中 □<sup>からきぬ</sup>唐衣 平安時代、女官が正装に用いた衣服 □<sup>おみなえし</sup>女郎花 秋の七草の一つ □<sup>こじとみ</sup>小蒔 蒔のある小さい窓 □<sup>あま</sup>海士・海人 漁夫 □<sup>よもすがら</sup>終夜 一晩中 □<sup>なにがし</sup>某 なんとかいう。だれそれ □<sup>じせい</sup>辞世 死に際に詠み残す詩歌 □<sup>そうず</sup>僧都 僧の役職名の一つで、僧正に次ぐ僧官 □<sup>とばり</sup>帷 室内の仕切りや外界との遮断のために垂らす布 □<sup>てんじょうびと</sup>殿上人 殿上



## マントラ 古文常識

の間への昇殿を許された人 □ 鎧 馬の両わきに垂れ下げて、乗る人が足を踏みか  
 けるもの □ 甲 戦場で、頭部を保護するための鉄製のかぶり物 □ 鎧 戦場で身に  
 付けて身体を守る防具 □ 遣水 邸内の庭に水を引き入れて流れるようにしたもの  
 □ 詞書 和歌の成立事情に関して簡潔にまとめた前書き □ 輿 乗り物の一種 □ 主  
 上 天皇 □ 物怪 人にとりつき、病気や不幸をもたらすもの □ 南殿 南側の御殿。  
 紫宸殿の別名 □ 局 女官・女房の私室 □ 守 国司の長官 □ 東 東国 □ 門出 旅立  
 ち □ 口伝 口伝えで伝授すること □ 読経 声を出して経を読むこと □ 物忌 一定  
 期間家にもこもって、身を慎むこと □ 方違 凶とされる方角を避け、目的地に進む  
 こと □ 半蔀 戸の下半分を格子にして固定し、上半分を蔀にして外側に釣り上げ  
 られるようにしたもの □ 御手水 貴人が手や顔を洗い清めること □ 透垣 竹と竹  
 の間を少しあけて作った垣根 □ 小舎人 童 貴人の近くで雑用をする少年 □ 嫡子  
 正妻の産んだ子で、家を継ぐ男子 □ 内侍 内侍司の女官 □ 直衣 天皇・貴人の平  
 常服 □ 雑色 雑役を務める役人 □ 遠流 流罪 □ 追儼 大晦日に宮中で行われる、悪  
 鬼を追い払う儀式 □ 大路 大通り □ 誦経 声を出して経文を唱えること □ 節会  
 宮中で催された宴会や儀式 □ 入相 夕暮れ □ 闇 寝室 □ 棧敷 祭りなどの見物のた  
 めに、高くしてある床 □ 簾 細く切った竹などを糸で編んで垂らすもの □ 兄人  
 男性の兄弟 □ 狼藉 無秩序。乱暴 □ 未曾有 いまだかつてないこと □ 今生後生  
 現世と来世 □ 袈裟 僧が衣の上に左肩から右脇の下に掛ける布 □ 摂政 君主に代  
 わって政治を執ること □ 傍 わき。そば □ 地下 昇殿を許されない六位以下の者  
 □ 異名 別名 □ 九重 宮中 □ 不便 具合が悪い □ 冥途 死後の世界 □ 涅槃 悟り  
 の境地に入ること。釈迦の入滅 □ 引導 仏の道に導くこと □ 成仏 死んで仏にな  
 ること □ 勘解由 令外の官の一つで解由状を審査する職 □ 直垂 衣服の一つ。庶  
 民の衣服 □ 狩衣 公家が鷹狩に行くときに着用したもの □ 装束 衣服 □ 聖 高德  
 の僧。天皇 □ 餞 旅立ち・門出の際、前途を祝って、酒食をもてなしたりするこ  
 と □ 数珠 仏を拜む際に用いる仏具 □ 公家 天皇。朝廷。朝廷に仕える貴族 □ 不  
 如意 思い通りにならないこと □ 女の童 女の子。召使の少女 □ 大嘗会 天皇即  
 位後、天皇が初めて新穀を神々に供える神事 □ 春宮 皇太子 □ 闕伽 仏に供える水  
 □ 県 国司など地方官の任国 □ 長 人々を支配し、まとめる人 □ 掌 手のひら  
 □ 雲居 空。雲。宮中 □ 簀子 竹を並べて作った床。寝殿造りで「廂」より一段低  
 い縁側 □ 帥 大宰府の長官 □ 檢非違使 京都の治安維持や風俗 肅正を担当した官  
 職で、やがて訴訟や裁判も担当する □ 四十 四十。四十歳 □ 大極殿 大内裏の正殿  
 □ 業 前世の行為によってこの世で受ける報い □ 年齢 寿命 □ 去年 去年  
 □ 袴 上着の上に着用して、下半身を覆う衣服 □ 女御 天皇の寝所に仕えた高位  
 の女官 □ 名利 名誉と利益 □ 宮仕 宮中に仕えること □ 同胞 (母親が同じ) 兄



マントラ 古文常識

弟姉妹  **下衆** 身分の低い者  **為手** 行う人  **後見** 陰にいて人を助け世話をすること  **御門** 天皇。皇居  **欠伸** あくび  **除目** 大臣以外の役人の任命式  **単衣** 裏地のない一枚仕立ての服  **入水** 身投げ。死ぬために身を水中に投げること  **軀** 老女  **政** 政治  **科罪** 欠点  **大殿油** 室内の照明  **唐櫃** 木製の箱  **供奉** お供として行列に加わること  **懸想** 思いをかけること  **物語** で参詣  **紙衣** 紙で作った衣服  **合羽** 雨よけのための長い上着  **盥** 湯または水を入れて物を洗う容器  **越路** 北陸地方全域の古い呼び名  **御感** 天皇が感動すること  **衆生** すべての人々  **稚児** 子供。寺院に預けられた少年  **僻事** 間違い  **御髪** 貴人の髪  **唐土** 中国  **四方** 東西南北  **山賤** 山里に住んでいる身分の低い人  **破籠** 内部に仕切りのある弁当箱  **逆鱗** 天皇のお怒り  **禰宜** 神官の一つ  **紙燭** 室内用の照明具  **上戸** 富豪  **遣戸口** 引戸口  **築地** 土堀  **野分** 秋に吹く台風  **山の端** 山が空に接する部分  **炭櫃** いろり  **音** 評判・噂  **後朝** 共寝をした翌朝の別れ  **片敷く** ひとり寝をする  **色好み** 風流好み  **産養** 誕生祝い  **五十日の祝** 誕生五十日目のお祝い  **百日の祝** 誕生百日目のお祝い  **初冠** 男子の成人式  **喪** 人の死を悼み、哀しみに引きこもること  **中宮** 天皇の正妻  **親王** 皇子の位  **内親王** 皇女の位  **東宮** 皇太子  **斎宮** 神に仕える未婚の内親王  **院** もと天皇  **清涼殿** 天皇の私生活の場  **入内** 天皇（皇太子）と結婚すること。そのために内裏（宮中）へ入ること  **参内** 宮中へ行くこと  **御幸** 天皇・院のお出かけ  **時めく** 寵愛を受ける  **時の人** 時流に乗って栄える人  **里** 人里・田舎、実家  **一人** 天皇の代わりに政治を行う実権者  **藏人** 天皇の秘書  **滝口** 宮中で天皇を警護する武士  **北の方** 妻  **白馬節会**（一月七日）白馬行列を見る。若菜摘みをする  **端午節会**（五月五日）菖蒲と薬玉を飾る  **重陽節会**（九月九日）端午節会の薬玉をはずし、菊を飾る  **新嘗祭**（豊明節会の前日）新米や穀物を天皇が神に供える儀式  **豊明節会**（十一月中旬）五節の舞が行われる  **賀茂祭**（四月）簾や冠や牛車に葵を飾る。別名「葵祭」  **大和歌** 和歌  **唐歌** 漢詩  **真名** 漢字  **仮名** ひらがな  **歌合** 左右二組に分かれた歌人が和歌の優劣を競う催し  **返し** 返事としての和歌・返歌  **連歌** 上句と下句をふたりで詠んで一首の歌を作ること  **歌枕** 和歌によく詠まれる名所。その名所をかき集めた書物  **道心** 仏道心  **陰陽師** 陰陽博士。天文・暦・方位などにより吉凶を占う人  **十二支** 子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥  **十干** 甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸  **月の異名**  **陸月** 一月  **如月** 二月  **弥生** 三月  **卯月** 四月  **皐月** 五月  **水無月** 六月  **文月** 七月  **葉月** 八月  **長月** 九月  **神無月** 十月  **霜月** 十一月  **師走** 十二月（十二支による方位）  **子** 北  **丑寅** 北東  **卯** 東  **辰巳** 南東  **午** 南

## マントラ 古文常識 古文熟語

未申 ひつじさる 南西 酉 とり 西 戌亥 いぬ め 北西 (月齢) 夕月 ゆふづき 陰暦三日ごろの夕方に出る、上弦の月 望月 もちづき 陰暦十五日の月。満月 十六夜の月 いざよひ 陰暦十六日の月。中世以降「いざよひ」。なかなか進まない、ためらうという意 立待の月 たちまち 陰暦十七日の月。立って待つ間に出る月。日没後、立って待っていても見ることが出来る月という意味 居待の月 ゐまち 陰暦十八日の月。月の出が満月より遅いので、座って待つ月 臥待の月・寝待の月 ねまち 陰暦十九日の月。月の出が遅いので、臥して(寝て)待つ月 更待の月・宵闇の月 ふけまち よいやみ 陰暦二十日ごろの月 有明の月 ありあけ 陰暦二十日以降の月 新月 しんげつ 陰暦晦日ごろの月 山 比叡山延暦寺 川 賀茂川 寺 三井寺(園城寺) 花 桜または梅

## マントラ 古文熟語

あかず 満足しない あととふわざ 死後の法事 あなかしこ ああ、縁起が悪い あなかしこ……な 決して……するな あなかま しっ、静かに あへてなしま ったくない あめのした 世界 あめり あるようだ あらぬ 違った ありあり てあげくのはてに ありつる さきほどの ありとある すべての あるかなき か 生きているのか死んでいるのか あるやう 事情 あんなり あるそうだ い かがせまし どうしたらよかるう いかがせむ どうしようか いかにもあれ どう でもいい いきとしいけるもの 生きているものすべて いくばくもなし いくら も時間がたたない いさしらず さあ、知らない いたづらになる 死ぬ いつ しかと 思いがけなく早くも いはく いうことには いふかたなし いいようもない いふもおろかなり いったもいい尽せない いまはかぎり 生涯の最後 い まゆくすゑ これから先 いもねず 眠らない いろにいつ 様子に現われる う きにたへず つらさに堪えられない うたてあり 気にくわない えさらず やむを えない えならず 何ともいえない えもいはず 何ともいいようのない えも いひやらず 最後までいえない おとにきく うわさに聞く おともせず 便りもない おもふどち 気のあった仲間 おもほえず 思いがけなく おろかならず ひ と通りではない かかれば だから かしらおろす 出家する かたちをかふ 出家する かちより 徒歩で かの あの かへらぬひと 死んでしまった人 きよ うなし おもしろみがない きょうにいる おもしろがる くさのいほ そまつな仮 の住まい くものうへびと 宮中の人 ぐわんたつ 神仏に祈る けしからず 異 様だ けしきあし きげんが悪い けしきあり 風情がある げには 実際には けらし ……したに違いない こころもそらに ほんやりと こしかたゆくすゑ

過去・未来 □**ことのごころ** 歌の意味 □**ことのたより** 何かのついで □**さまあし**  
 みともない □**さもあり** なるほどそうだ □**さらぬわかれ** 避けられない死別  
 □**さりとも** そうではあっても □**さるほどに** そうこうしているうちに □**しかあれ**  
 どそれはそうだけれど □**しかず** 及ばない □**す糸のよ** 後世 □**せきあはず** こらえ  
 きれない □**せむかたなし** どうするすべもない □**ぞかし** ……であるよ □**そこは**  
 かとなし それとははっきりしない □**そのかみ** その当時 □**そのこととなし** 何とい  
 うこともない □**つねなし** たえず変化する □**つひにゆくみち** だれもが最後に行く  
 死の道 □**てふ** ……という □**ときにあふ** 時機にめぐりあい栄える □**ときをうし**  
 なふ 時勢にあわず落ちぶれる □**とまれかうまれ** ともかくも □**とみのこと** 急の用  
 事 □**ともかくも** なんとも □**ながきわかれ** この世の別れ □**ながめあかず** 物思い  
 に沈んで夜を明かす □**なくもがな** なければよいなあ □**などか** どうして……か  
 □**なにおふ** 有名である □**なべてならず** 並ひと通りでない □**におよばず** ……する  
 必要がない □**ねをなく** 声をあげて泣く □**のちのよ** 死後の世 □**のちのわざ** 死者  
 の冥福を祈る法事 □**はかなくなる** 死ぬ □**ひとやりならず** 自ら求めてする □**また**  
**たのひ** 翌日 □**みぐしおろす** 出家なさる □**みのほど** 分相応 □**むねつふる** ときど  
 きする □**めをそばむ** 横目で見える □**もこそ** ……したら大変だ □**もぞ** ……したら  
 大変だ □**ものならず** 物の数ではない □**ものにもにず** たとえようもない □**もの**  
**のごころ** 物の道理 □**ものもおぼえず** 無我夢中である □**ゆきもてゆく** どんどん行  
 く □**ゆふさる** 夕方になる □**よからぬひと** 身分教養のない人 □**よのつねならず**  
 並ひと通りでない □**よをすつ** 出家する □**れいの** いつものように □**をりしも** ち  
 ょうどその時 □**あかずやありけむ** 名残がつきなかったのか □**あかなくに** 十分に  
 満足しないのに □**あからめもせず** わき目もふらず □**あなこころう** ああ、つらい  
 □**あやめもしらず** 分別がない □**あらばこそ** あったなら、それこそ □**あられぬよ**  
 住みにくい世間 □**ありもつかず** 落ちつかなくて □**あるにもあらず** 生きていると  
 も思えない □**あるまじ** とんでもない □**あるやうこそは** 何かわけがあるのだろう  
 □**あれかひとかに** ただほう然と □**いかがはせむ** どうにもしかたがない □**いかに**  
**いはむや** ましてや □**いかにぞや** どうしてなのか □**いきもやらず** さっさと歩きも  
 せず □**いたりたるひと** その道の奥義を極めた達人 □**いつとなし** いつものである  
 □**いとまます** ひまをいただく □**いはむかたなし** いいようもない □**いひけらく**  
 いったことには □**いふかひなくなる** 死ぬ □**いふべうもあらず** いうまでもない  
 □**いまはた** 今となっては □**いもねられず** 眠ることができない □**えあらし** 生きて  
 いけまい □**おとなしくなる** 大人っぽくなる □**おもておこす** 名誉となる □**おも**  
**はずなり** 心外だ □**おもはずに** 予想外だと □**かぎりもしらぬ** いつ死ぬかわからな  
 い □**かくては** このままでは □**かごとばかり** ほんのわずか □**かすならず** 取るに

足りない □くものうへ 宮中 □くろききぬ 喪服 □けしうはあらず 悪くはない  
 □ここかしこ あちらこちら □ころにもあらず 思いがけない □ころをいたす  
 心をつくす □こはいかに これはどうしたことだ □さきをおふ 先払いする □さ  
 こそ それほど □さてもありぬべし そう悪くはない □さのみ そうむやみに □さ  
 らずは そうでないなら □さらでだに そうでなくてさえ □さらにかひなし まった  
 くどうしようもない □さらぬ そのほかの □さりぬべし 相当である □さるべき  
 そうしなければならぬ □さるまじ そうたいしたものでもない □さもあれ えい、  
 ままよ □しかはあれど そうではあるが □しさいにおよばず あれこれ事情をいう  
 必要がない □すゑばのやどり 晩年の住居 □せずやあらまし しないでおうか  
 □そでのわかれ 夜明け方の愛人との別れ □ただならず 並々でない □たれてふ 誰  
 という □ときしらず 時節をわきまえない □ときならず 時節はずれだ □ところ  
 う 得意になる □ところおく 遠慮する □とばかりありて しばらくたって □な  
 けあり 思いやりがある □なでふことなし 何ということもない □なにかはせむ 何  
 になろうか □なにきく 名前通り □なにしたつ 評判になる □なのめならず ひと通  
 りでない □のがり ……のもとへ □のちのこと 死後の法事 □はちすのうへ 極楽  
 浄土 □はねをならぶ 夫婦仲をよくする □ひとつづてならで 人を介してでなく  
 □ひとにおくる 人に死なれる □まうけのきみ 皇太子 □またのつとめて 次の日の  
 早朝 □みをすつ からだを投げ出す □むなしくなる 死ぬ □むねあく 心が晴れる  
 □ものきこえ 世間の評判 □ものまうす お尋ねいたす □やるかたなし 気を晴ら  
 す方法もない □よしあり 由緒ある □よにあらじ まさかそんな事はあるまい  
 □よにしらず 比類がない □よになし この上なくすばらしい □よのおほえ 世間の  
 評判 □よのきこえ 世間の評判 □よのためし 世間話のひきあい □よのなか 男女  
 の間柄 □よをおこなふ 政治を行う □よをしる 政治をとる □よをそむく 出家す  
 る □れいならず いつもとは違う □われにもあらず 気を失う □あへず ……しき  
 れない □あらなくに ないのになあ □ありやうにしたがふ 成りゆきにまかせる  
 □あれかにもあらず 無我夢中で □いざたまへ さあ、いらっしやい □いひしらず  
 いい表しようがない □いひてありなん いておくがよからう □いへばさらなり  
 いうまでもない □おもはぬほか 予想外 □かうぶりたまはり 位階の昇進 □かみ  
 なかしのひと 上中下どんな身分の人 □ころもえず よくわからない □こしを  
 れたること つたない腰折れ歌 □さしもあらぬ それほどでもない □さなめり その  
 ようです □さのみやは そうばかりも……ない □さはれ どうにでもなれ □さも  
 あらばあれ どうでもかまわない □さればこそ やはり思った通りだ □さればよ 思  
 った通りだ □しかながら そのまま全部 □しかるべし そうなる運命だ □ずは  
 ……しないで □とあり、かかり ああだ、こうだ □なかりせば もしなかったとし

たら □なくてありなん ないほうがいいだろう □**なくに** ……ないことだのになあ  
 □ひととせながら 一年中 □**ほいにはあらで** 本来の望み通りでなく □**ものかは** 物の  
 数ではない □**ようせずは** どうかすると □**よのしれもの** 大変な馬鹿者 □**よの**  
**なかさわがし** 疫病が流行する □**らうあり** 物事に熟練している □**をこのこと** 馬鹿  
 げたこと

## マントラ 古文敬語

□**遊ばず** ① (和歌を)「詠む」(漢詩を)「作る」(楽器を)「弾く」(文字を)「書く」  
 の尊敬 お詠みになる・お作りになる・お弾きになる・お書きになる ②尊敬の補助  
 動詞 お～になる・お～なさる □**いますかり=いまそかり** ①「あり」「をり」の尊  
 敬 いらっしゃる ②尊敬の補助動詞 ～でいらっしゃる □**うけたまは** ①「受く」の謙  
 譲 お受けする ②「聞く」の謙譲 お聞きする □**おはす=おはします・います** ①  
 「あり」「をり」の尊敬 いらっしゃる ②「行く」「来」の尊敬 おいでになる ③尊敬  
 の補助動詞 ～でいらっしゃる・～でおいでになる □**思す=思ほす・思しめす**「思  
 ふ」の尊敬 お思いになる □**おほとのごも** **ぬ** (寝ぬ) の尊敬 おやすみになる □**き**  
**こゆ=聞こえさす** ①「言ふ」の謙譲 申し上げる ②謙譲の補助動詞 ～申し上げ  
 げる □**聞こす=聞こしめす** ①「聞く」の尊敬 お聞きになる ②「飲む」「食ふ」の尊  
 敬 お飲みになる・召し上がる ③「治む」の尊敬 お治めになる □**啓す** (院・中宮・  
 東宮などに対して)「言ふ」の謙譲 申し上げる □**ご覧す**「見る」の尊敬 ご覧にな  
 る □**知ろしめす=知らしめす** ①「知る」の尊敬 知っていらっしゃる・ご存知だ  
 ②「領る」の尊敬 お治めになる □**奏す** (帝・神仏に対して)「言ふ」の謙譲 申し  
 上げる □**奉る** ①「与ふ」の謙譲 さし上げる・献上する ②「乗る」「着る」の尊  
 敬 お乗りになる・お召しになる ③謙譲の補助動詞 ～申し上げる □**賜る・給る**  
 ①「受く」の謙譲 いただく②「与ふ」「授く」の尊敬 お与えになる・くださる ③  
 尊敬の補助動詞 ～で下さる □**給ふ** (四段)=たうぶ・たぶ・たまはす ①「与ふ」  
 の尊敬 お与えになる ②尊敬の補助動詞 お～になる・お～なさる □**給ふ** (下二段)  
 謙譲の補助 ～ます・～させていただく □**仕う奉る=仕へ奉る・仕る** ①「仕ふ」  
 の謙譲 お仕え申し上げる ②「す」「ものす」の謙譲 いたします ③謙譲の補助動詞  
 ～申し上げる □**宣ふ=宣はす・仰す**「言ふ」の尊敬 おっしゃる □**侍り=侍**  
**ふ・候ふ** ①「をり」「仕ふ」の謙譲 お仕えする ②「あり」「をり」の丁寧 ありま  
 す・おります ③丁寧の補助動詞 ～です・～ます □**申す** ①「言ふ」の謙譲 申し上  
 げる ②謙譲の補助動詞 ～申し上げる・お～ます ③「言ふ」の丁寧 ～と申しま



## マントラ 古文敬語 古文例文

す □**参づ**「行く」「来」の謙讓 参上する・参詣する □**罷る** = **罷づ**「行く」「来」「出づ」の謙讓 退出する・出る・参る □**参る** ①「行く」「来」の謙讓 参上する・参詣する ②「与ふ」の謙讓 差し上げる ③「飲む」「食ふ」の尊敬 お飲みになる・召し上がる □**参らす** ①「与ふ」の謙讓 差し上げる ②謙讓の補助動詞 ~申し上げる □**召す** ①「呼ぶ」「招く」の尊敬 お呼びになる ②「飲む」「食ふ」「乗る」「着る」の尊敬 お飲みになる・召し上がる・お乗りになる・お召しになる

## マントラ 古文例文

□えまうです。参上することができない。□**さらにしられじ**。まったく知られまい。□**ないりたまひそ**。お入りになってはいけない。□**なににかはせむ**。どうしようか、いやどうしようもない。□**あさましかりぬべし**。きっと驚きあきれた状態になるはずだ。□**おとりてやはある**。劣っているか、いや劣っていない。□**かたなこそさせひとうつすべしらず**。刀をさしているが、人を殺す方法を知らない。□**ゆめとしりせばさめざらましを**。夢だと知っていたなら、覚めなかつただろうになあ。□**すてたうびてよ**。お捨てになってしまいなさいよ。□**こぼれさいはひなきにしもあらず**。思いがけない幸福が必ずしもないわけではない。□**なかなかあたとなるものを**。かえってうらみとなるのになあ。□**おろかにおもほすな**。愛情がうすいなんてお思いになってはいけません。□**おもひしにはあらずいとほいなくくちをし**。期待したのと違ってたいそう不本意で残念だ。□**いつしかそのつきひになれかし**。はやくその月その日になって欲しい。□**こころありしひとびとにみせまほしきよ**。風流心を持った人々に見せたいよ。□**あないみじ、これをひとにみせばや**。ああすばらしい、これを他の人に見せたいなあ。□**たよりあらばいかでみやこへつけやらむ**。機会があるなら、何とかして都へ知らせてやりたい。□**しらではいかでかあらむ**。どうして知らないでいられようか、いや、いられない。□**しづまばしづめ**。沈むなら沈んでもかまわない。□**いかがはべらん**。どういうことでしょうか。□**もののけにあづかりてこうじにけるにや**。物怪に関わって疲れてしまったのであろうか。□**あめもぞふる**。雨が降ったら困る。□**こぼこ**。来るなら来い。□**しほみちくればかたをなみ** 海水が満ちてくると干潟ひがたがなくなるので □**はかなきぎずもうちつけられなばよしなし**。ちょっとした傷でも負わされてしまったならばつまらない。□**みぐしおろしたてまうてけり**。お髪をお切り出家なさってしまった。□**をさをさまうでたまはず**。ほとんど参上なさらない。□**あからさまにまゐらせたまへ**。ほんのちょっと参上なさい。□**めしにせうそきこえむ**。あなたにお便

## マントラ 古文例文

り申し上げよう。□**ものなどまるる**。お食事などめし上がる。□**しろきみぞむつなむつばかりたてまつりて** 白いお着物を六つ七つほどおめしになって □**つかうまつりてさぶらひしなり**。和歌を詠みもうしあげたのでございます。□**つとめてまかれ**。翌朝退出せよ。□**ゆきふらなむ**。雪が降ってほしい。□**なげかずもがな**。嘆き悲しむことがなければよいのになあ。□**いかでこころとてしにもしにがな**。何とかして思いのままに死んでしまいたい。□**あはれみかたがな**。ああ、味方がほしいなあ。□**やさしきものから** けなげであるけれど □**もとばかりためらひつつ** しばらく気を鎮めては □**ありしかたちにもあらず**。以前の顔つきと、違っている。□**いざたまへ**。さあいらっしゃい。□**おのがこころをいふはさらにもいはず**。自分の心と言う場合は言うまでもない。□**なかることのうたてさよ**。自然と泣かれてしまうことが情けないことよ。□**昔より、かしこき人の、とめるはまれなり**。昔から、かしこい人で、富んでいるのはまれである。□**時のまの煙ともなりなんとぞ、うち見るより思はるる**。わずかな時間で燃えて煙ともなってしまうだろうと、ちょっと見るとすぐ思われる。□**雨降らば、え行かじ**。雨が降ったら行くまい。□**雨降れば、え行かず**。雨が降るので、行くことができない。□**雨降れば、え行かず**。雨がふると、行くことができない。□**雨降れば、え行かず**。雨が降るといつも、行くことができない。□**雨降るとも、行かむ**。雨が降っても、行こう。□**雨降れども、行かむ**。雨が降るけれど、行こう。□**すべて折につけつつひととせながらをかし**。すべて、その時その時に応じて、一年中（一年そっくりそのまますべて）すばらしい。□**をさをさ都に劣らざるものを**。ほとんど都に劣らないのになあ。□**さもなかりしものを** たしかにそうでもなかったのだが □**などか山林に行ひたまふとも、ここにだに消息ものたまはぬ**。どうして山や林で修行なさっても、私の所にさえも手紙もくださらないのですか。□**夢をだに見ばや**。せめて夢をだけでも見たい。□**空のけしきなどさへ、あやしうそこはかとなくをかしきを** 空の様子などまでが、どこということもなく趣深いのを □**後の位も何にかはせむ**。皇后の位も何であろうか、何でもない。□**人の召しに従うてこそ参れ**、人によばれてから参上するのに、□**花咲かなむ**。花が咲いてほしい。□**花咲きなむ**。きっと花が咲くだろう。□**花なむ咲きける**。花が咲いた。

## ヤントラ 古典文法（古典文法の基本図表）

	ワ行	ラ行	ヤ行	マ行	ハ行	ナ行	タ行	サ行	カ行	ア行	
ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	ア段
	ゐ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い	イ段
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	ウ段
	ゑ	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え	エ段
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	オ段

### 古文の五十音図

縦の列の「あいうえお」、「かきくけこ」などを「行<sup>ぎょう</sup>」と言います。

横の列「あかさたなはまやらわ」、「いきしちにひみりゐ」などを「段<sup>だん</sup>」と言います。

**ポイント** 「い」と「え」がア行とヤ行に出てきて、「う」がア行とワ行に出てきます。

たとえば、カ行のウ段は「く」となり、ワ行のエ段は「ゑ」となります。逆に、「ゐ」はワ行のイ段、「な」はナ行のア段となります。

古文の五十音図は動詞の活用の種類を理解するために必要な知識なので、必ず暗記するようにしましょう。



連用形		未然形										接続																					
たし	まほし	じ	まし	むず(んず)	む(ん)	ず	しむ	さす	す	らる	る	基本形																					
たから	まほしから	○	ましか (ませ)	○	(ま)	ざら	(な)	しめ	させ	せ	られ	れ	未然形 〜ズ																				
たかり	まほしかり	○	○	○	○	ざり	(に)	しめ	させ	せ	られ	れ	連用形 〜タリ																				
たし	まほし	じ	まし	むず	む	ず	しむ	さす	す	らる	る	。	終止形 〜。																				
たがる	まほしかる	(じ)	まし	むずる	む	ざる	(ぬ)	しむる	さする	する	らるる	るる	連体形 〜時																				
たけれ	まほしけれ	(じ)	ましか	むずれ	め	ざれ	(ね)	しむれ	さすれ	すれ	らるれ	るれ	已然形 〜トモ																				
○	○	○	○	○	○	ざれ		しめよ	させよ	せよ	られよ	れよ	命令形 〜。																				
希望(…たい…してほしい)		希望(…たい…してほしい)		打消の意志(…ないだろう)		打消の意志(…ないつもりだ)		希望・意志(…たらないのに)		反実仮想(もし…だったら、…だろうに)		勧誘(…しませんが)		適當(…がよい)婉曲(…のような)		仮定(…したら)		打消(…ない…ぬ)		使役(…せる…させる)		尊敬(お…になる…なさる)		尊敬(お…になる…なさる)		自発(「自然」…れる…られる)		可能(…できる)		受身(…れる…られる)		意味	





● 下二段活用

五十音図のエ段に活用する。

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
カ行	蹴る	(け)	け	け	ける	ける	けれ	けよ

ポイント

下二段活用の動詞は「蹴る」のみなので、暗記しましょう。

● 下二段活用

五十音図のウ段とエ段に活用する。

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ワ行	据う	す	すゑ	すゑ	すう	すうる	すつれ	すゑよ

ポイント

ア行下二段の動詞は「得<sup>う</sup>」「心得<sup>う</sup>」の二語のみ、ワ行下二段活用の動詞は「植<sup>う</sup>」「飢<sup>う</sup>」「据<sup>す</sup>う」の三語のみなので、暗記しましょう。

● ナ行変格活用

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ナ行	死ぬ	し	しな	しに	しぬ	しぬる	しぬれ	しね

ポイント

ナ行変格活用の動詞は「死ぬ」、「往<sup>い</sup>ぬ」の二語のみなので、暗記しましょう。

## 動詞の活用表

動詞とは「〜ウ」で言い切るもの。

### ● 四段活用

五十音図のア・イ・ウ・エの四段に活用する。

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
カ行	書く	か	かか	かき	かく	かく	かけ	かけ

### ● 上一段活用

五十音図のイ段に活用する。

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ワ行	居る	(ゐ)	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ

### ● ポイント

主な上一段活用の動詞は暗記する。「干る」、「射る」、「着る」、「似る」、「見る」、「居るゐ」、「率ある」。

### ● 上二段活用

五十音図のイ段とウ段に活用する。

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ヤ行	老ゆ	お	おい	おい	おゆ	おゆる	おゆれ	おいよ

### ● ポイント

ヤ行上二段活用の動詞は「老ゆ」、「悔ゆ」、「報ゆ」の三語のみなので、暗記しましょう。

《動詞の活用の種類の見分け方》

未然形をつくって「ず」をつけてみて)ア段になれば、四段活用。例えば、書か「ア」(ず)。イ段になれば、上二段活用。例えば、起き「イ」(ず)。エ段になれば、下二段活用。例えば、捨て「エ」(ず)。

上一段活用、下一段活用、ナ行変格活用、ラ行変格活用、カ行変格活用、サ行変格活用、これらの動詞については暗記しておく。

形容詞の活用表

形容詞とは「し」で言い切る言葉

●ク活用

例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
高し	たか	高(く)	高く	高し	高き	高けれ	高かれ
		高から	高かり	○	高かる	○	○

●シク活用

例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
樂し	たの	樂(しく)	樂しく	樂し	樂しき	樂しけれ	○
		樂しから	樂しかり	○	樂しかる	○	樂しかれ

ポイント

ク活用とシク活用は、動詞「なる」をつけてみる。「高くなる」のように「く」となるものは、ク活用。「楽しくなる」のように「しく」となるものは、シク活用。活用の左側の行(から・かり・○・かる・○・かれ)は、下に助動詞がつくときに用いる。

●ラ行変格活用

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
ラ行	あり	あ	あら	あり	あり	ある	あれ	あれ

ポイント

ラ行変格活用の動詞は「あり」、「居り」、「侍り」、「いまそかり」の四語のみなので、暗記しましょう。

●カ行変格活用

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
カ行	来	(く)	こ	き	く	くる	くれ	こ(よ)

ポイント

カ行変格活用の動詞は「来」のみなので、暗記しましょう。

●サ行変格活用

行	例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
サ行	す	(す)	せ	し	す	する	すれ	せよ

ポイント

サ行変格活用の動詞は「す」のみなので、暗記しましょう。

連用形接続の過去の助動詞「き」の接続は、カ行変格活用の「く」とサ行変格活用の「す」には特殊な接続の仕方をするので暗記しておこう。

カ行変格活用の未然形「来」への接続は「来し」、「来しか」となります。連用形「来」への接続は「来し」、「来しか」となります。サ行変格活用の未然形「せ」への接続は「せし」、「せしか」となります。連用形「し」への接続は「しき」となります。「来し」、「来しか」、「来し」、「来しか」、「せし」、「せしか」、「しき」と何度も音読して、体で暗記しましょう。

助詞一覧表

「体言」	格助詞	意味・用法・現代語訳
「体言」	し	強意(訳す必要なし)
「体言」	し	
「体言」	など	例示(ゝなど) 婉曲(ゝなど)
「体言」	より	起点(ゝから) 経過点(ゝを) 比喩の基準(ゝより) 手段・方法(ゝで・ゝによって) 即時(ゝするやいなや)
「体言」	と	相手・共同者(ゝと) 変化の結果(ゝと・ゝに) 引用(ゝと) 並列(ゝとゝと) 比較の基準(ゝと・ゝと比べて)
「体言」	へ	方向(ゝへ・ゝに)
「体言」	に	場所(ゝに) 時(ゝに) 対象・相手(ゝに) 原因・理由・目的(ゝで・ゝのために) 変化の結果(ゝに) 比較の基準(ゝと・ゝと比べて)
「体言」	から	起点(ゝから)
「体言」	して	手段・方法(ゝで) 共同者(ゝと) 「共に」 使役の相手(ゝに) 「命じて」
「体言」	にて	原因・理由・方法(ゝで・のために) 比喩の基準 強意(ゝに・ゝより) 場所(ゝに) 動作主の暗示(ゝと) 「共に」
「体言」	を	対象(ゝを) 起点(ゝから) 経過点(ゝを通じて)
「体言」	のが	主格(ゝが) 連体修飾格(ゝの) 同格(ゝで) 準体格(ゝのもの) 連用修飾格(ゝと) 「共に」

意味・用法・現代語訳



## 形容動詞の活用表

形容動詞とは「〜なり」、「〜たり」で言い切る言葉

### ●ナリ活用

例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
あてなり	あて	あてなら ○	あてなり あてに	あてなり ○	あてなる ○	あてなれ ○	あてなれ ○

### ●タリ活用

例語	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
平然たり	へいぜん	平然たら ○	平然たり 平然と	平然たり ○	平然たる ○	平然たれ ○	平然たれ ○

### 《形容動詞の判別法》

ものごとの状態・様子+「なり」または「たり」。「なり」の上に「か・ら・げ」の文字がある(「しづかなり」「きよげなり」など)。  
上に「いと(非常に)」を付けても自然。

ヤントラ 古典文法(助詞一覧表)

接 続	係助詞	意味・用法・現代語訳
様々な語	ぞ	強意(訳す必要なし)
様々な語	なむ (なん)	強意(訳す必要なし)
様々な語	や(やは) か(かは)	疑問(〜(だろ)か) 反語(〜(だろ)か、いやくない)
様々な語	こそ	強意(訳す必要なし)
様々な語	は	強意(訳す必要なし)
様々な語	も	強意(訳す必要なし)
接 続	副助詞	意味・用法・現代語訳
様々な語	し	強意(訳す必要なし)
様々な語	ばかり	限度(〜だけ) 程度(〜ほど)
様々な語	まで	限度(〜まで) 程度(〜ほど)
様々な語	のみ	限定(〜だけ・〜ばかり) 強意(ただもつ〜ばかり)
連体形	さへ	添加(〜までも)
連体形	すら (そら)	類推(〜さえ)
連体形 〔体言〕	だに	類推(〜さえ) 限定(せめて〜だけでも)

「文中」	接続	を・や・よ	詠嘆(〜だなあ)	意味・用法・現代語訳
連用形	接続	ながら	逆接(〜だが・〜ながら)	同時並行(〜しながら)
連用形	接続助詞	つつ	逆接(〜だが・〜ながら)	同時並行(〜しながら)
未然形	接続助詞	で	逆接(〜だが)	同時並行(〜しながら)
連用形	接続助詞	して	逆接(〜だが)	同時並行(〜しながら)
連体形	接続助詞	ものから ものの ものを	逆接(〜だが)	同時並行(〜しながら)
連体形	接続助詞	を	逆接(〜だが)	同時並行(〜しながら)
連体形	接続助詞	に	逆接(〜だが)	同時並行(〜しながら)
連体形	接続助詞	が	逆接(〜だが)	同時並行(〜しながら)
已然形	接続助詞	ども	逆接の確定条件(〜だが・〜けれども)	同時並行(〜しながら)
終止形	接続助詞	とも	逆接の仮定条件(〜しても)	同時並行(〜しながら)
已然形	接続助詞	ば(は)	逆接の確定条件(〜したらば)	同時並行(〜しながら)
未然形	接続助詞		逆接の確定条件(〜したらば)	同時並行(〜しながら)
接続	接続助詞		逆接の確定条件(〜したらば)	同時並行(〜しながら)

接続	終助詞	意味・用法・現代語訳
連体形	かな	詠嘆(〜だなあ)
「文末」	な	詠嘆(〜だなあ)・念押し(〜ね)
終止形	な	禁止(〜な)
「文末」	かし	念を押し(〜よ)
「体言」 連用形	てしかな にしかな	希望(〜したいなあ)
未然形	なむ・なん	他に対する希望(〜してほしい)
「体言」 連用形	もがな がな	他に対する希望(〜してほしい)
連用形	そ	禁止(多く「な〜そ」の形で)(〜な)
未然形	ばや	希望(〜したい)